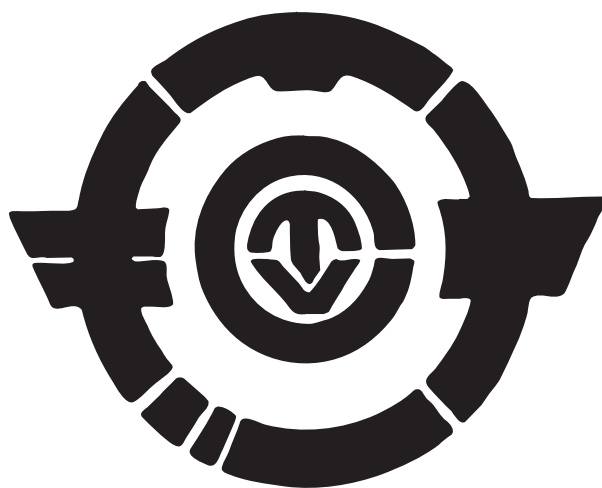


消防年報

2015



稲敷広域消防本部



ひと目でわかる消防統計

面積 (27.4.1)

549.80Km²
構成 3市3町1村

人口 (27.4.1)

296,097人

世帯数 (27.4.1)

114,661世帯

署所数 (27.4.1)

消防本部 1
消防署 5
分署 2
出張所 2

職員数 (27.4.1)

定員 395人
実員 394人

119番通報 (26年)

稲敷広域 15,332件
阿見町 2,671件

消防車 (27.4.1)

水槽付ポンプ車 12台
普通ポンプ車 9台

特殊車両 (27.4.1)

はしご車 3台
化学車 3台
救助工作車 3台
水槽車 1台

救急車 (27.4.1)

高規格救急車 13台
救急車 3台

火災発生件数 (26年)

稲敷広域 88件
阿見町 12件

救急出場件数 (26年)

稲敷広域 10,583件
阿見町 1,924件

救助出動件数 (26年)

稲敷広域 148件
阿見町 17件

防火対象物数 (27.4.1)

6,199棟

危険物施設数 (27.4.1)

製造所 17施設
貯蔵所 697施設
取扱所 313施設

民間防火組織数 (27.4.1)

幼年消防クラブ 18
少年消防クラブ 5
婦人消防クラブ 2

目 次

平成 26 年度の主な行事・事業等	1
稲敷地方広域市町村圏の概要	3
稲敷広域消防の沿革	4
阿見町消防の沿革	12
総務関係	
稲敷広域消防の組織	15
消防本部事務分掌	16
消防署事務分掌	18
消防本部・消防署所庁舎一覧表	19
消防職員配置状況	20
消防職員階級別勤続年数	21
消防職員階級別年齢	22
職員教育・研修実施状況	23
組合予算・相互応援協定状況	24
予防関係	
予防広報活動の紹介	25
民間防火組織の活動紹介	26
市町村別危険物施設状況	27, 28
危険物製造所等許可状況	27, 28
危険物規制事務等手数料	27, 28
市町村別防火対象物現況	29
法届出状況	30
条例届出状況	31
中高層建築物	32, 33
建築確認事務状況	34
広報広聴実施状況	35
民間防火組織一覧	36
警防関係	
消防機動力	37
消防車両等の配置状況	39
主な消防器具等	41
消防隊の主な訓練及び講習会等	42
総出場状況	45
所属別火災出場状況	47
救助事故種別出動件数及び活動件数	48, 51
救助事故種別救助人員及び車両搬送人員	48, 51
救助事故種別出動人員及び活動人員	48, 51
救助事故種別発生場所別出動件数	49, 52
救助事故種別発生場所別活動件数	49, 52
救助事故種別発生場所別救助人員	49, 52
救助事故種別出動車両台数	50, 53

救助事故種別活動車両台数	50, 53
救助隊員の訓練実施状況	50, 53
圏域内市町村別消防水利施設設置状況	54

通信関係

通信・指令の業務	55
119番通報電話機別の推移	56
通信系統	57
通信施設状況	58
119番着信件数・災害出場指令件数	59
無線局一覧表	61
緊急通報システム受信状況	64
気象警報注意報発令調	65
月別風速・気温・湿度・雨量調	66

火災関係

火災原因調査	67
火災統計上の参考事項	68
火災概況	70
市町村別火災概要	71
月別火災種別	72, 73
曜日別火災種別	72, 73
時間帯別火災種別	72, 73
火災種別出火原因	74
過去5年間の火災原因状況	76
過去10年間の火災件数推移	77

救急関係

各種救急訓練・事例検討会の紹介	79
救命講習会の紹介	80
稲敷地区メディカルコントロール協議会の紹介	80
ドクターヘリ及びドクターカーの紹介	81
市町村別救急出場状況	82
月別救急出場状況	83
事故種別年齢区分別搬送状況	84
事故種別傷病程度別搬送状況	85
救急隊員の行った応急処置件数調	86, 87
市町村別救急発生状況推移	88
救急出場件数推移	89
救命講習実施状況	90
救急蘇生の状況	91, 92

管内消防団関係

管内消防団の状況	93
----------	----

平成 26 年度の主な行事・事業等

4 月

- ◆ 人事評価研修
- ◆ 稲敷地方危険物安全協会総会



二組合水防訓練

5 月

- ◆ 第 1 回予防研修会（屋内消火栓設備）
- ◆ 二組合水防訓練
- ◆ 人事評価研修
- ◆ 第 1 回消防運営委員会

6 月

- ◆ 茨城ドクターヘリ事例検討会（水戸済生会総合病院）
- ◆ JAとりで総合医療センター事例検討会
- ◆ 第 41 回茨城県消防救助技術大会
- ◆ 救助隊全体訓練
- ◆ 霞ヶ浦地区水防訓練



第 41 回茨城県消防救助技術大会

7 月

- ◆ 第 1 回救急隊員研修会
- ◆ 指揮訓練
- ◆ 大規模社会福祉施設等防火管理研修会
- ◆ 消防職員委員会



指揮訓練

8 月

- ◆ 第 2 回予防研修会（スプリンクラー設備）
- ◆ JAとりで総合医療センター救急講演会
- ◆ 潜水訓練（霞ヶ浦）

9 月

- ◆ 第 1 回救急事例検討会
- ◆ 茨城県救急医学会
- ◆ JAとりで総合医療センター救急事例検討会
- ◆ 小規模社会福祉施設防火管理研修会



小規模社会福祉施設防火管理研修会

10月

- ◆ 第3回予防研修会（危険物施設立入検査）
- ◆ 多数傷病者対応訓練
- ◆ 第2回救急隊員研修会
- ◆ 救助隊全体訓練
- ◆ 第2回消防運営委員会



多数傷病者対応訓練

11月

- ◆ JAとりで総合医療センター事例検討会
- ◆ 緊急消防援助隊関東合同ブロック訓練
- ◆ 茨城県高速自動車道等消防協議会総合訓練
- ◆ 危険物施設立入検査指導者研修会
- ◆ 人事評価研修



茨城県高速自動車道等消防協議会総合訓練

12月

- ◆ 茨城ドクターヘリ事例検討会（水戸済生会総合病院）
- ◆ 高規格救急車，利根消防署へ配置
- ◆ 消防ポンプ自動車（CAFS付）牛久消防署へ配置
- ◆ 広報車牛久東部出張所へ配置



緊急消防援助隊関東ブロック訓練

1月

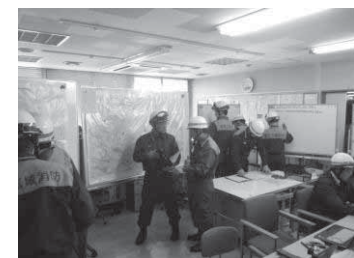
- ◆ 火災原因調査研修会
- ◆ 第2回救急事例検討会
- ◆ JAとりで総合医療センター事例検討会（稲敷主催）
- ◆ 救助隊全体訓練
- ◆ 危険物貯蔵タンク中間検査要領勉強会
- ◆ 産業医健康講話



救急事例検討会

2月

- ◆ 龍ヶ崎市新型インフルエンザ住民接種訓練
- ◆ 震災対応訓練
- ◆ 電気安全講習会
- ◆ 産業医健康講話



震災対応訓練

3月

- ◆ 茨城ドクターヘリ事例検討会（水戸済生会総合病院）
- ◆ JAとりで総合医療センター事例検討会
- ◆ 救助隊全体訓練
- ◆ 違反是正研修会
- ◆ いなほ消防署竣工式



救助隊全体訓練

稲敷地方広域市町村圏の概要

本圏域は、都心より東へ50～70 km、茨城県の南端に位置し、JR常磐線沿いの龍ヶ崎市、牛久市と東に位置する稲敷市を中心に3市3町1村によって構成され、人口は、約30万人、総面積は、約550 k m²に及んでいます。

圏域北部は、風光明媚な霞ヶ浦に面し、東南部は、釣りの名所である利根川、横利根川に境を接し、西部は、紫峰筑波山を北方に仰ぎ、小貝川、牛久沼で境をなしています。

圏域内総面積のうち、約65%が稲敷台地と呼ばれる標高25m前後の台地で、西部は、JR佐貫駅、JR牛久駅及びJRひたち野うしく駅を玄関口に首都圏のベッドタウンとして都市化の進展と人口が増加し住宅団地等の開発が盛んであるなか、圏央から東部においては、県内有数の穀倉地帯として整備の進んだ水田が広がる一方、首都圏中央連絡自動車道等の開通に伴い、各地に工業団地の開発が行われ、農業中心に経緯してきた様相にも、変化が著しい状況にあります。

こうしたなかで、当組合消防本部は、圏域内約30万の住民のため、安全で安心な街づくりに、防災の担い手として努力しております。

構成市町村面積・人口・世帯数

平成27年4月1日現在

市町村別	面積 (k m ²)	人口 (人)	世帯数 (戸)
龍ヶ崎市	78.60	78,730	31,545
牛久市	58.90	83,962	33,704
稲敷市	205.80	43,551	14,850
阿見町	71.00	48,007	19,013
利根町	24.90	16,542	6,334
河内町	44.00	9,234	2,948
美浦村	66.60	16,071	6,267
合計	549.80	296,097	114,661

(人口・世帯数は茨城県企画部統計課調)

稲敷広域消防の沿革

龍ヶ崎市，牛久町，江戸崎町，利根町，東村，河内村，新利根村，美浦村，桜川村の 9 ケ市町村は，昭和 47 年 8 月 15 日の広域市町村整備配置要綱により広域市町村圏の指定をうけたので，同要綱に基づいて総合計画を策定し，昭和 48 年 12 月 17 日，茨城県知事より稲敷地方広域市町村圏事務組合の設立を条件付きで許可された。しかし，消防の特殊性を鑑み昭和 49 年 6 月 10 日消防条項を規約に組入れ昭和 50 年 4 月 1 日，消防本部を発足する。

- 昭和 50 年 4 月 1 日 1 市 3 町 5 村をもって稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部を発足し，既設の龍ヶ崎消防署を核として業務を開始する。消防職員 37 名増員 職員数 97 名となる。初代消防長 岡田昭守 就任。
- 7 月 1 日 江戸崎消防署並びに牛久消防署を開設し，3 署とした。水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入 江戸崎消防署へ配置した。水槽付消防ポンプ自動車 1 台，牛久町より移譲を受け，牛久消防署へ配置した。救急自動車 2 台及び司令車 2 台購入し，江戸崎，牛久消防署へ各 1 台配置した。乗用車 1 台購入，消防本部に配置した。
- 7 月 28 日 普通消防ポンプ自動車 1 台購入，江戸崎消防署へ配置した。
- 10 月 1 日 消防職員 1 名増員，職員数 98 名となる。
- 昭和 51 年 4 月 1 日 消防職員 25 名増員，職員数 123 名となる。
- 4 月 2 日 先に開設した牛久消防署庁舎，鉄筋コンクリート一部 2 階建，延面積 441.50 m²が完成し移転した。
- 7 月 1 日 江戸崎消防署東出張所を開設し，3 署 1 出張所とした。消防職員 1 名増員 職員数 124 名となる。
- 7 月 8 日 救急自動車，司令車及び連絡車，各 1 台購入，江戸崎消防署東出張所，消防本部に配置した。
- 8 月 10 日 消防長 宮本 衛 となる。
- 8 月 30 日 水槽付消防ポンプ自動車，普通消防ポンプ自動車各 1 台購入，牛久消防署，江戸崎消防署東出張所に配置した。
- 12 月 17 日 先に開設した江戸崎消防署庁舎，鉄筋コンクリート一部 2 階建，延面積 458.55 m²が完成し移転した。
- 昭和 52 年 4 月 1 日 消防職員 35 名増員，職員数 158 名となる。
- 7 月 1 日 龍ヶ崎消防署利根出張所を開設し，3 署 2 出張所とした。水槽付消防ポンプ自動車，救急自動車，司令車各 1 台購入，龍ヶ崎消防署利根出張所に配置した。
- 12 月 6 日 先に開設した江戸崎消防署東出張所庁舎，鉄筋コンクリート平屋建，延面積 290.00 m²が完成し移転した。
- 昭和 53 年 1 月 20 日 江戸崎消防署美浦出張所を開設，庁舎鉄筋コンクリート平屋建，延面積 363.84 m²，3 署 3 出張所とした。
- 4 月 1 日 消防職員 20 名増員，職員数 178 名となる。

- 7月1日 龍ヶ崎消防署新利根出張所及び江戸崎消防署桜川出張所を開設し、3署5出張所とした。消防職員7名増員、職員数185名となる。
水槽付ポンプ自動車、連絡車各2台購入、龍ヶ崎消防署新利根出張所及び江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 昭和54年 10月20日 18m梯子付消防ポンプ自動車を購入、江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
1月1日 消防職員1名増員、職員数186名となる。
1月25日 先に開設した龍ヶ崎消防署利根出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積284.08㎡が完成し移転した。
2月16日 日本自動車工業会より救急自動車1台寄贈、龍ヶ崎消防署新利根出張所に配置した。
4月1日 消防職員17名増員、職員数203名となる。
7月1日 龍ヶ崎消防署河内出張所を開設し、3署6出張所とした。水槽付ポンプ自動車、連絡車各1台購入、龍ヶ崎消防署河内出張所及び江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 昭和55年 1月1日 消防職員2名増員、職員数205名となる。
2月13日 先に開設した江戸崎消防署桜川出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積289.53㎡が完成し移転した。
2月29日 先に開設した龍ヶ崎消防署新利根出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積291.91㎡が完成し移転した。
3月29日 救急自動車1台購入 江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
8月22日 財団法人日本消防協会より救急自動車1台寄贈 牛久消防署に配置した。
- 昭和56年 2月27日 救急自動車1台購入 龍ヶ崎消防署河内出張所に配置した。
3月2日 先に開設した龍ヶ崎消防署河内出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積305.50㎡が完成し移転した。
3月27日 消防本部庁舎、鉄筋コンクリート3階建、延面積997.71㎡が完成し移転した。
10月1日 消防長 仲山 徹となる。
12月15日 牛久消防署庁舎増築、車庫、仮眠室104.00㎡が完成した。
- 昭和57年 1月26日 牛久町石油ガス組合連合会、牛久地区危険物安全協会より査察広報車1台寄贈、牛久消防署に配置した。
2月26日 普通消防ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
4月1日 消防職員8名増員 職員数205名となる。
8月20日 水槽付消防ポンプ自動車、普通消防ポンプ自動車各1台更新 龍ヶ崎消防署及び牛久消防署に配置した。
- 昭和58年 3月14日 龍ヶ崎消防署河内出張所に救助訓練塔A、B、C塔が完成した。
10月1日 消防長事務取扱 宮本 衛となる。
12月19日 化学消防ポンプ付自動車1台を購入 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 昭和59年 3月30日 茨城県防災行政無線が消防本部に設置される。
8月15日 消防長事務取扱 岡田昭守となる。
11月30日 日本中央競馬会より司令車1台寄贈 江戸崎消防署に配置した。
12月26日 水槽付ポンプ自動車を購入 龍ヶ崎消防署に配置した。

- 昭和 60 年 3 月 1 日 救急指令装置，地図検索装置を設置，通信指令室を開設した。
- 4 月 1 日 消防本部の組織規則の一部を改正し消防本部の機構を 3 課 1 0 係とした。
- 9 月 18 日 ワゴン車 1 台を購入 消防本部に配置した。連絡車 1 台購入 消防本部に配置した。
- 10 月 11 日 国際科学博覧会協会より，普通ポンプ自動車 1 台寄贈 消防本部に配置した。
- 昭和 61 年 2 月 25 日 救急自動車 1 台購入 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 6 月 1 日 牛久町が市制を施行し牛久市となり，構成市町村は 2 市 2 町 5 村となる。
- 11 月 6 日 水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新 牛久消防署に配置した。
- 12 月 20 日 日本中央競馬会よりワゴン車 1 台寄贈 江戸崎消防署に配置した。
- 昭和 62 年 4 月 1 日 消防職員 2 7 名増員 職員数 2 2 5 名となる。龍ヶ崎消防署利根出張所を昇格し，利根消防署として開設。職員数 1 7 名を配置し，水槽付消防ポンプ自動車 1 台，救急自動車 1 台，連絡車 1 台を配置した。龍ヶ崎消防署西部出張所を開設。職員数 1 1 名を配置し，水槽付消防ポンプ自動車 1 台，救急自動車 1 台，連絡車 1 台を配置した。牛久消防署西部出張所を開設。職員数 1 1 名を配置し，水槽付消防ポンプ自動車 1 台，救急自動車 1 台，連絡車 1 台を配置した。
- 5 月 29 日 司令車 1 台更新 牛久消防署に配置した。
連絡車 1 台購入 龍ヶ崎消防署西部出張所に配置した。
- 6 月 5 日 乗用車 1 台更新 消防本部に配置した。
- 9 月 28 日 救急自動車 1 台更新 江戸崎消防署に配置した。
- 10 月 31 日 水槽付消防ポンプ自動車 2 台更新 龍ヶ崎消防署西部出張所及び牛久消防署西部出張所に配置した。
- 昭和 63 年 1 月 28 日 日本損害保険協会より救急自動車 1 台寄贈 牛久消防署に配置した。
- 1 月 31 日 利根消防署署長室，車庫 65.2 m²を増築完成した。
- 6 月 13 日 財団法人日本防火協会よりワゴン車 1 台寄贈 消防本部に配置した。
- 7 月 26 日 財団法人日本消防協会より電源照明車 1 台寄贈 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 10 月 13 日 日本中央競馬会よりマイクロバス 1 台寄贈 江戸崎消防署に配置した。
- 平成 元年 6 月 29 日 資機材搬送車 1 台購入し消防本部に配置した。司令車 1 台購入し利根消防署に配置した。連絡車 1 台更新 江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
- 10 月 20 日 救助工作車 1 台購入 龍ヶ崎消防署に配置した。
電源照明車 1 台を龍ヶ崎消防署より配置換え 牛久消防署に配置した。
- 12 月 25 日 救急自動車 1 台更新 江戸崎消防署東出張所に配置した。
- 平成 2 年 2 月 26 日 水難救助用ジェットスキー 2 艇購入 龍ヶ崎消防署及び江戸崎消防署に配置した。
- 11 月 30 日 日本損害協会より救急自動車 1 台寄贈 江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
- 12 月 26 日 水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新 江戸崎消防署に配置した。
- 平成 3 年 1 月 24 日 予備車 1 台購入 消防本部に配置した。
- 2 月 18 日 救急自動車 1 台更新 利根消防署に配置した。
- 3 月 29 日 連絡車 2 台更新 江戸崎消防署桜川出張所及び龍ヶ崎消防署新利根出張所に配置した。
- 4 月 1 日 消防職員 1 8 名増員 職員数 2 3 5 名となる。

- 5月10日 水難救助艇1艇を購入 利根消防署に配置した。
- 11月25日 普通ポンプ自動車1台更新 牛久消防署に配置した。
- 12月12日 通信指令装置及び車両に消防用無線全国共通波を整備した。
- 12月26日 救急自動車4台に心電図伝送装置及び自動車電話を整備した。
- 平成4年 1月29日 山之内製薬株式会社より救急自動車1台寄贈 龍ヶ崎消防署西部出張所に配置した。
- 2月12日 救急自動車1台更新 龍ヶ崎消防署新利根出張所に配置した。
- 4月1日 消防職員14名増員 職員数248名となる。
- 5月30日 消防長事務取扱 内藤謙吉となる。
- 8月6日 消防長事務取扱 海老原龍生となる。
- 12月15日 救急自動車7台に心電図伝送装置を配備した。
- 平成5年 3月29日 司令車1台更新 江戸崎消防署に配置した。
- 4月1日 消防長 海老原淳二となる。
- 6月25日 連絡車1台更新 龍ヶ崎消防署河内出張所に配置した。
- 10月5日 普通ポンプ自動車1台更新 江戸崎消防署に配置した。
- 12月14日 救急自動車1台更新 牛久消防署西部出張所に配置した。
- 平成6年 4月1日 消防職員13名増員 職員数259名となる。
- 5月30日 連絡車1台更新 消防本部に配置した。
- 6月24日 司令車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。連絡車1台更新 江戸崎消防署東出張所に配置した。
- 10月14日 普通消防ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 11月22日 40m梯子付消防自動車1台購入 牛久消防署に配置した。小型救助艇(ジェット推進式)を江戸崎消防署桜川出張所(桜川村和田地区へ格納)へ配置した。
- 12月12日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 江戸崎消防署東出張所に配置した。
- 平成7年 2月28日 救急自動車1台更新 江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 4月1日 消防本部の組織規則を一部改正し、本部の機構を5課13係とした。また、消防署の組織規程を全部改正した。消防職員15名増員 職員数273名となる。
- 8月23日 八鉦グループ(八鉦石油株式会社, 八鉦運輸株式会社, 八鉦電子株式会社)より、連絡車1台寄贈 牛久消防署西部出張所に配置した。
- 9月5日 消火隊3隊を含む計6隊が緊急消防援助隊として登録された。
- 10月6日 消防本部20周年記念式典開催
稲敷地方危険物安全協会より予防広報車1台寄贈 消防本部に配置した。
- 平成8年 3月18日 救急自動車1台更新 龍ヶ崎消防署河内出張所に配置した。
- 3月28日 水槽付消防ポンプ自動車2台更新 利根消防署及び江戸崎消防署美浦出張所に配置した。連絡車1台更新 消防本部に配置した。
- 4月1日 消防職員16名増員 職員数287名となる。
- 6月1日 河内村及び新利根村が町制を施行し河内町, 新利根町となり, 構成市町村は, 2市4町3村となる。
- 9月1日 東村が町制を施行し東町となり, 構成市町村は, 2市5町2村となる。

- 11月7日 20m 梯子付消防自動車1台更新 江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
- 11月27日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎消防署新利根出張所に配置した。
- 平成9年 3月14日 連絡車1台更新 消防本部に配置した。
- 3月26日 救急自動車1台更新(高規格救急車とする) 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 4月1日 消防職員16名増員 職員数299名となる。
- 8月4日 龍ヶ崎市より救助ボート2艇移譲 龍ヶ崎消防署西部出張所及び江戸崎消防署東出張所に配置した。
- 9月30日 日本中央競馬会より査察車1台寄贈 江戸崎消防署に配置した。
- 12月3日 化学消防ポンプ自動車(IV型)1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 12月5日 普通消防ポンプ自動車1台更新 利根消防署に配置した。
- 12月12日 水槽付消防ポンプ自動車2台更新 龍ヶ崎消防署河内出張所及び江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 平成10年 4月1日 消防職員11名増員 職員数309名となる。
- 12月17日 救急自動車1台更新(2B) 龍ヶ崎消防署西部出張所に配置した。
- 平成11年 1月12日 連絡車1台更新 消防本部に配置した。
- 1月18日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 1月19日 普通消防ポンプ自動車1台更新 牛久消防署に配置した。
- 1月20日 救急自動車1台更新(高規格救急車とする) 牛久消防署に配置した。
- 2月16日 救助工作車1台購入 江戸崎消防署に配置した。
- 2月23日 連絡車1台更新 江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 3月23日 江戸崎消防署庁舎増築 2階建 406.07 m²が完成した。
- 3月31日 連絡車1台更新 消防本部に配置した。
- 4月1日 消防長 松本育之となる。消防職員12名増員 職員数318名となる。
- 平成12年 1月18日 水槽付消防ポンプ自動車1台及び普通ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 2月23日 救急自動車1台更新(高規格救急車とする) 江戸崎消防署に配置した。
- 4月1日 消防職員6名増員 職員数321名となる。
- 8月25日 司令車1台更新 牛久消防署に配置した。
- 9月21日 指揮隊車1台更新 消防本部に配置した。
- 平成13年 4月1日 消防長 関口忠夫となる。消防職員7名増員 職員数322名となる。
- 6月21日 連絡車1台更新 龍ヶ崎消防署西部出張所に配置した。
- 11月9日 救急自動車2台更新(2B) 江戸崎消防署東出張所及び江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
- 平成14年 4月1日 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を4課11係とした。消防職員2名増員 職員数320名となる。
- 平成15年 4月1日 消防長 酒井保之となる。
- 8月29日 連絡車1台更新 江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
- 9月1日 司令車1台更新 利根消防署に配置した。
- 9月30日 稲敷地方危険物安全協会より予防広報車1台寄贈 消防本部に配置した。
- 10月29日 水難救助艇1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。

- 12月18日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 牛久消防署に配置した。
- 平成16年 1月19日 救急自動車1台更新（高規格救急車とする） 利根消防署に配置した。
- 4月1日 消防長 長田保一となる。消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を5課10係とした。消防署の組織に関する規程の一部を改正し、消防署の機構を3課とした。消防職員4名増員 職員数317名となる。
- 平成17年 3月22日 江戸崎町、東町、新利根町、桜川村の4町村合併により稲敷市誕生。
- 4月1日 消防職員5名増員 職員数322名となる。
- 7月1日 消防署の組織に関する規程の一部を改正し、消防署の機構を4課とした。
- 平成18年 3月15日 龍ヶ崎消防署新庁舎、鉄骨造2階建、延面積1967.64㎡が完成し移転した。消防本部通信指令課に高機能通信指令装置が更新となる。
- 4月1日 消防長 川崎榮一となる。
- 5月19日 栗山繁氏（前牛久消防署長）より連絡車1台寄贈 牛久消防署に配置した。
- 6月2日 株式会社盤石より龍ヶ崎消防署にカエル石像が寄贈された。
- 7月11日 龍ヶ崎地区危険物安全協会より軽自動車1台寄贈 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 平成19年 2月21日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 牛久消防署西部出張所に配置した。
- 2月15日 高規格救急自動車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 3月14日 社団法人日本損害保険協会より高規格救急自動車1台寄贈 牛久消防署西部出張所に配置した。
- 7月6日 資機材搬送車1台更新 消防本部に配置した。
- 7月24日 水難救助艇1台更新 江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 平成20年 1月9日 連絡車1台更新 江戸崎消防署新利根出張所に配置した。
- 1月22日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎西部出張所に配置した。
- 4月1日 消防長 仲山松男となる。
- 消防職員11名増員 職員数322名となる。
- 9月16日 水難救助ボートを牛久消防署へ配置した。
- 平成21年 1月15日 高規格救急自動車1台を更新 江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 2月10日 消防ポンプ自動車を1台更新 牛久消防署へ配置した。
- 水槽付消防ポンプ自動車を更新 江戸崎消防署へ配置した。
- 4月1日 救急自動車を江戸崎消防署桜川出張所より配置替え 牛久消防署へ配置した。
- 牛久消防署東部出張所新庁舎を開設 鉄骨平屋建て、延床面積575.0㎡、職員16名を配置した。同西部出張所を閉庁する。
- 消防長 川井 寛となる。
- 消防職員11名を採用 職員数327名となる。
- 平成22年 2月18日 高規格救急自動車1台を更新 龍ヶ崎消防署河内出張所に配置した。
- 2月24日 救助工作車1台（Ⅲ型）を更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 3月27日 高規格救急自動車1台を更新 牛久消防署に配置した。
- 4月1日 消防長 本谷正一となる。
- 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を5課11係とした。
- 消防職員8名を採用 職員数329名となる。

- 江戸崎消防署桜東分署を開設 鉄骨平屋建て、延床面積 650.5 m²、職員 25 名、水槽付消防ポンプ自動車 2 台、高規格救急自動車 1 台、連絡車 1 台を配置した。江戸崎消防署東出張所、同桜川出張所を閉庁する。
- 7 月 1 日 高度救助隊（スーパーレスキュー稲敷）発足、隊員 14 名を龍ヶ崎消防署に配置した。
- 平成 23 年 1 月 13 日 牛久消防署庁舎増築、仮眠室 266.69 m²が完成した。
- 1 月 21 日 消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 江戸崎消防署へ配置した。
- 1 月 27 日 消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 江戸崎消防署桜東分署へ配置した。
- 高規格救急自動車 1 台を更新 龍ヶ崎消防署西部出張所に配置した。
- 4 月 1 日 消防職員 9 名を採用 職員数 332 名となる。
- 平成 24 年 2 月 2 日 消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 龍ヶ崎消防署へ配置した。
- 2 月 20 日 化学消防ポンプ自動車（Ⅲ型）を 1 台購入した。
- 4 月 1 日 消防職員 11 名を採用 職員数 333 名となる。
- 龍ヶ崎消防署新河分署を開設 鉄骨 2 階建て、延床面積 719.79 m²、職員 25 名、化学消防ポンプ自動車 1 台、水槽付消防ポンプ自動車 2 台、高規格救急自動車 1 台、連絡車 1 台を配置する。
- 龍ヶ崎消防署河内出張所、江戸崎消防署新利根出張所を閉庁する。
- 10 月 29 日 資器材搬送車 1 台購入を龍ヶ崎消防署に配置、同署に配置していた資機材搬送車 1 台を江戸崎消防署桜東分署へ配置した。
- 12 月 17 日 高規格救急自動車 1 台を更新 江戸崎消防署に配置した。
- 平成 25 年 1 月 17 日 水槽付消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 利根消防署へ配置した。
- 4 月 1 日 消防長 酒井健生となる。
- 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 12 係とした。
- 消防職員 14 名を採用 職員数 334 名となる。
- 8 月 23 日 水難救助ボート（FRP 製）を 1 艇更新 利根消防署に配置した。
- 12 月 3 日 高規格救急自動車 1 台を更新 牛久消防署に配置した。
- 平成 26 年 1 月 14 日 指揮車 1 台を更新 江戸崎消防署に配置した。
- 1 月 20 日 水槽付消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 江戸崎消防署桜東分署に配置した。
- 2 月 12 日 普通ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 龍ヶ崎消防署新河分署に配置した。
- 4 月 1 日 消防職員 16 名を採用 職員数 331 名となる。
- 12 月 11 日 普通ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 牛久消防署に配置した。
- 12 月 17 日 広報車 1 台を更新 牛久消防署東部出張所に配置した。

12月19日 高規格救急自動車1台を更新 利根消防署に配置した。

平成27年 4月1日 阿見町消防本部との広域化を実施。消防本部の名称を稲敷広域消防本部とする。

消防長 石塚伸也となる。

消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を5課1隊13係とした。

消防職員19名を採用 職員数394名となる。

いなほ消防署（鉄骨造2階建て、延床面積1868.26㎡）を開設し、江戸崎消防署、同美浦出張所を閉庁する。

阿見町消防の沿革

- 昭和 56 年 4 月 1 日 阿見町消防本部，阿見町消防署が発足，初代消防長 浦野五郎 就任。
これに伴い役場消防隊は解散した。
- 9 月 1 日 阿見町消防本部開庁式。浦野消防長外職員 40 名と普通消防ポンプ自動車 1 台，化学消防車 1 台，水槽付消防ポンプ自動車 1 台，救急車 1 台，指令車 1 台、広報車 1 台の計 6 台の車両で業務開始した。
- 昭和 58 年 1 月 19 日 救急車 1 台購入，消防署に配置した。
- 4 月 1 日 職員 1 名役場へ異動 職員数 40 名となる。
- 8 月 9 日 日本消防協会より広報車 1 台を寄贈，消防本部に配置した。
- 9 月 1 日 阿見町若栗 3 3 3 7 番地に新庁舎，鉄筋コンクリート 2 階建，延床面積 1358.83 m²が完成し移転した。
- 11 月 19 日 B 型救急指令装置が消防本部に設置される。
- 昭和 59 年 4 月 1 日 消防職員 7 名を採用。職員 1 名役場から異動 職員数 48 名となる。
- 昭和 60 年 1 月 1 日 消防長事務取扱 野口三郎となる。
- 4 月 1 日 阿見町幼少年婦人防火委員会発足した。
- 昭和 61 年 10 月 1 日 小型動力ポンプ付水槽車（10t）1 台を購入，消防署に配置した。
- 昭和 62 年 4 月 1 日 消防職員を 2 名採用 職員数 48 名となる。
- 7 月 28 日 日本消防協会より婦人防火クラブに軽可搬ポンプ 1 台寄贈される。
- 昭和 63 年 3 月 9 日 消防庁長官より表彰旗を受ける。
- 9 月 9 日 幼年消防全国大会において，日本防火協会より 阿見幼稚園幼年消防クラブに鼓笛隊セットが寄贈される。
- 12 月 19 日 化学消防車 1 台更新，消防署に配置した。
- 平成 元年 4 月 1 日 消防長 澤口美登里となる。
- 6 月 7 日 指令車 1 台購入、消防本部に配置した。
- 平成 2 年 3 月 13 日 日本損害保険協会より救急車 1 台寄贈，消防署に配置した。
- 4 月 1 日 消防長事務取扱 松島 保となる。
消防職員 2 名採用，職員 1 名役場から異動 職員数 48 名となる。
- 平成 3 年 4 月 17 日 広報車 1 台購入，消防本部に配置した。
- 8 月 8 日 救急自動車 2 台に自動車電話を整備した。
- 9 月 30 日 消防署に車庫増設。
- 11 月 22 日 救助工作車 1 台購入，消防署に配置した。
- 11 月 29 日 消防本部 10 周年記念式典開催。
- 平成 4 年 4 月 1 日 消防職員 2 名採用 職員数 50 名となる。
- 6 月 29 日 資機材搬送車 1 台購入，消防署に配置した。
- 10 月 23 日 幼年消防全国大会において，日本防火協会より ふたば幼稚園幼年消防クラブに鼓笛隊セット，荒川沖幼稚園幼年消防クラブにビデオセットが寄贈される。

- 11月6日 救急自動車1台に自動車電話装置を装備した。
- 11月24日 救急自動車2台に心電図伝送装置を装備した。
- 平成5年 4月1日 消防職員1名採用 職員数51名となる。
- 5月1日 消防長 久保田次男となる。
- 職員1名役場へ異動, 2名役場から異動 職員数52名となる。
- 7月16日 広報車1台購入, 消防署に配置した。
- 平成6年 3月18日 救急車1台購入, 消防署に配置した。
- 3月18日 救急自動車2台に心電図伝送装置を装備した。
- 4月1日 消防長 今野博雄となる。
- 消防職員4名採用, 職員1名役場から異動, 職員数54名となる。
- 6月2日 日本防火協会より防火広報車1台寄贈, 消防本部に配置した。
- 10月19日 高規格救急車1台購入, 消防署に配置した。高度救命処置用資器材を整備, 高規格救急車に積載した。
- 11月8日 幼年消防全国大会において, 日本防火協会より 阿見みどり幼稚園幼年消防クラブに 鼓笛隊セットが寄贈される。
- 平成8年 1月1日 消防長事務取扱 川田弘二となる。
- 4月1日 消防長 今橋一美となる。
- 消防職員2名採用, 職員1名役場から異動 職員数56名となる。
- 7月26日 日本消防協会より上本郷女性防火クラブに軽可搬ポンプ1台寄贈される。
- 7月30日 査察車1台更新, 消防本部に配置した。
- 12月6日 普通消防ポンプ自動車1台更新, 消防署に配置した。
- 平成9年 1月14日 40m梯子付消防ポンプ自動車1台購入, 消防署に配置した。
- 4月1日 消防長事務取扱 川田弘二となる。
- 消防吏員2名採用 職員数57名となる。
- 平成10年 1月7日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新, 消防署に配置した。
- 4月1日 消防長 川上 稔となる。
- 消防吏員2名採用, 職員1名役場から異動 職員数59名となる。
- 6月26日 日本救急医学会関東地方会第32回救急隊員学術研究会を開催した。
- 7月15日 水難救助用ボート1艇を購入, 消防署に配置した。
- 平成11年 4月1日 職員2名役場へ異動, 1名役場から異動 職員数58名となる。
- 6月11日 指令車1台更新, 消防本部に配置した。
- 平成12年 4月1日 職員1名役場へ異動 職員数57名となる。
- 平成13年 3月15日 消防緊急通信指令装置を整備した。
- 4月1日 消防長 吉原規久夫となる。
- 職員1名採用 職員数58名となる。
- 7月2日 広報車1台更新, 消防本部に配置した。
- 平成15年 2月27日 第5回茨城県救急救命士セミナーを開催。
- 4月1日 消防長 神林柳司となる。
- 職員数58名となる。

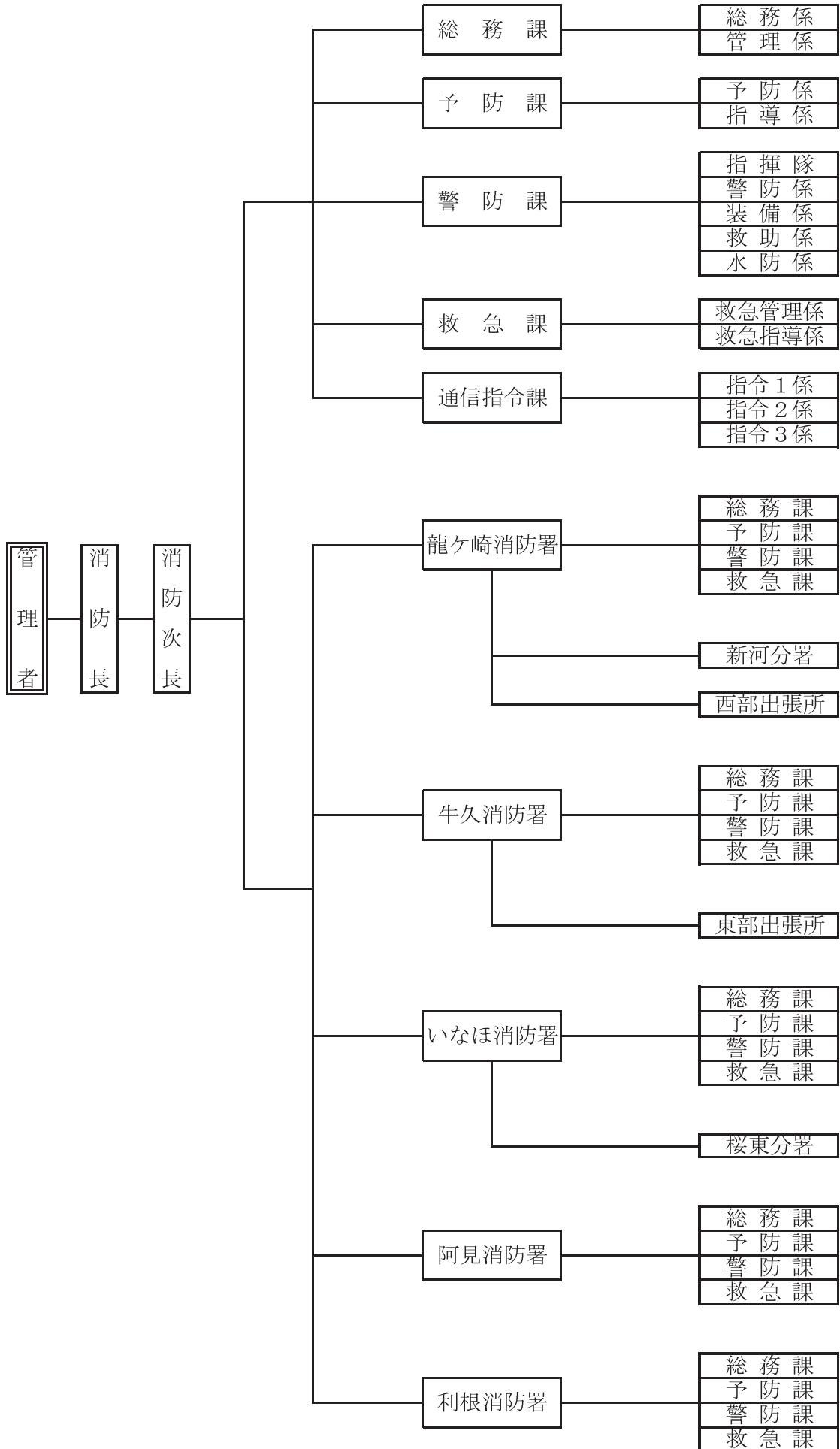
	7月11日	阿見町危険物安全協会設立20周年記念式典開催
	8月30日	平成15年度茨城県・阿見町総合防災訓練を開催する。
平成17年	3月7日	高規格救急車1台購入消防署に配置した。
平成18年	4月1日	消防長 木鉛 章となる。 消防職員1名採用 職員数59名となる。
平成19年	4月1日	消防職員4名採用 職員数61名となる。
平成20年	2月7日	第31回全国消防職員意見発表茨城県大会を開催。
	4月1日	消防長 瀬尾房雄となる。 消防職員4名採用, 職員1名役場へ異動 職員数63名となる。
平成21年	3月27日	水槽付消防ポンプ自動車1台更新, 消防署に配置した。
	4月1日	消防職員3名採用 職員数63名となる。
平成22年	4月1日	消防職員2名採用 職員数64名となる。
平成23年	4月1日	消防長 川村忠男となる。 消防職員1名採用 職員数63名となる。
平成24年	3月22日	高規格救急車1台更新, 消防署に配置した。
	4月1日	消防職員2名採用 職員数64名となる。
平成25年	3月29日	広報車1台更新, 消防本部に配置した。
	4月1日	消防職員2名採用 職員数64名となる。
	8月25日	阿見町危険物安全協会設立30周年記念式典開催。
	9月27日	査察車1台更新, 消防本部に配置した。
平成26年	10月28日	高規格救急車1台更新, 消防署に配置した。
平成27年	3月19日	化学消防ポンプ自動車1台更新, 消防署に配置した。

総務



- 産業医健康講話

稲敷広域消防の組織



消 防 本 部 事 務 分 掌

総 務 課

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書に関する事。
- (3) 職員の昇任、昇格に関する事。
- (4) 消防関係例規に関する事。
- (5) 消防施設の整備及び管理に関する事。
- (6) 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。
- (7) 職員の任免、配置、服務、分限、懲戒、表彰その他人事に関する事。
- (8) 職員の給与、公務災害補償及び補償補填に関する事。
- (9) 研修計画及び管外消防との情報連絡に関する事。
- (10) 貸与品及び消耗品等に関する事。
- (11) 予算、決算及び経理に関する事。
- (12) 消防事務の企画及び事務管理に関する事。
- (13) 消防用財産の管理に関する事。
- (14) 組織及び制度に関する事。
- (15) 統計に関する事。
- (16) 他の課に属さない事。

予 防 課

- (1) 火災の予防に関する事。
- (2) 民間防火組織等の育成及び防火思想の普及に関する事。
- (3) 予防査察及び指導に関する事。
- (4) 広報及び広聴に関する事。
- (5) 罹災証明等に関する事。
- (6) 統計に関する事。
- (7) 防火管理者及び危険物取扱者に関する事。
- (8) 火災原因及び損害の調査に関する事。
- (9) 建築確認等の同意に関する事。
- (10) 消防用設備等の検査及び指導に関する事。
- (11) 消防対象物（危険物製造所等を除く）の使用の届出等に関する事。
- (12) 火災予防条例に基づく届出等に関する事。
- (13) 火気使用設備及び器具に関する事。
- (14) 危険物製造所等の許認可に関する事。
- (15) 危険物製造所等の火災予防措置に関する事。
- (16) 少量危険物、指定可燃物等の火災予防措置に関する事。
- (17) 液化石油ガス貯蔵取扱施設の保安上の措置に関する事。
- (18) 圧縮アセチレンガス等の届出に関する事。
- (19) 防火協力団体に関する事。

警 防 課

- (1) 災害現場活動の指揮に関する事。
- (2) 出場隊の運用・安全管理に関する事。

- (3) 災害情報の収集・管理に関する事。
- (4) 現場の観察及び効果並びに評定に関する事。
- (5) 警防計画及び演習，訓練に関する事。
- (6) 核燃料物質及び放射性同位元素，劇物，毒薬等の貯蔵取扱の届出に関する事。
- (7) 消防の相互応援に関する事。
- (8) 水火災その他災害出動及び連絡調整並びにこれらによる被害調査等に関する事。
- (9) 消防技術の研究及び指導に関する事。
- (10) 消防の教養，訓練等に関する事。
- (11) 地理水利の調査及び保守に関する事。
- (12) 都市計画等の消防施設設置に関する事。
- (13) 車両の安全運転管理及び交通事故に関する事。
- (14) 消防機械器具の整備及び管理に関する事。
- (15) 消防油脂類，消火薬剤及び消防用資器材の管理等に関する事。
- (16) 救助及び潜水業務に関する事。
- (17) 統計に関する事。
- (18) 水防事務に関する事。

救急課

- (1) 救急業務に係る調査及び研究に関する事。
- (2) 救急資器材，医薬品等の整備及び管理に関する事。
- (3) 救急車両の配備，維持管理等に関する事。
- (4) 救急活動技術の研究及び指導訓練に関する事。
- (5) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- (6) 感染防止に関する事。
- (7) ドクターヘリ等運用に関する事。
- (8) 茨城 DMAT 運用に関する事。
- (9) 救急要請受付時の口頭指導に関する事。
- (10) 患者等搬送事業に関する指導及び認定に関する事。
- (11) 応急手当普及業務に関する事。
- (12) 稲敷地区メディカルコントロール協議会に関する事。
- (13) 救急統計に関する事。
- (14) その他救急業務に関する事。

通信指令課

- (1) 消防緊急システムの企画，調整及び運営管理に関する事。
- (2) 通信技術の研究及び指導に関する事。
- (3) 出動指令に関する事。
- (4) 通信統制に関する事。
- (5) 各種災害関係情報の収集及び伝達に関する事。
- (6) 消防及び救急の相互応援指令に関する事。
- (7) 防災行政無線に関する事。
- (8) 緊急通報システムに関する事。
- (9) その他通信指令事務に関する事。

消防署事務分掌

総務課

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書に関する事。
- (3) 職員の研修及び訓練に関する事。
- (4) 職員の福利厚生及び健康管理に関する事。
- (5) 職員の服務，規律，願及び届に関する事。
- (6) 経理に関する事。

予防課

- (1) 火災予防思想の普及に関する事。
- (2) 予防査察及び指導に関する事。
- (3) 建築確認等の同意及び消防用設備等の検査に関する事。
- (4) 危険物，少量危険物，指定可燃物等の規制及び当該施設の査察に関する事。
- (5) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (6) 火災の統計及び報告に関する事。
- (7) 防火管理者，消防設備士及び危険物取扱者に関する事。
- (8) 消防諸証明に関する事。
- (9) 防火協力団体に関する事。

警防課

- (1) 火災その他の災害の警戒及び防ぎょ活動(以下「消防活動」という。)に関する事。
- (2) 警防活動技術等の研修及び訓練に関する事。
- (3) 消防活動上支障となる物質等の調査及び防災指導に関する事。
- (4) 救急活動との連携に関する事。
- (5) 地理及び水利の調査に関する事。
- (6) 消防車両，機械器具，装備，資材等の点検整備及び保全に関する事。
- (7) 救助活動に関する事。
- (8) 救助技術の研修及び訓練に関する事。
- (9) 救助統計に関する事。
- (10) 消防団との連携に関する事。
- (11) 他の関係機関との連絡調整に関する事。

救急課

- (1) 救急活動に関する事。
- (2) 救急技術等の研修及び訓練に関する事。
- (3) 警防活動との連携に関する事。
- (4) 救急統計に関する事。
- (5) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- (6) 救急車両，資機材，医薬品等の点検管理に関する事。

消防本部・消防署所庁舎一覧表

区分 名称	所在地	建物構造	建物面積	竣工年月日
消防本部	龍ヶ崎市 3,571番地の1	鉄筋コンクリート造 3階建	庁舎 970.21 m ² 倉庫 67.16 m ²	昭和56年3月27日 平成19年2月増築
龍ヶ崎消防署	龍ヶ崎市 1,759番地	鉄骨造 2階建	庁舎 1,967.64 m ²	平成18年3月15日
牛久消防署	牛久市栄町 4丁目1番地	鉄筋コンクリート造 2階建	庁舎 812.19 m ² ポンプ室 8.25 m ² 油庫 6.51 m ²	昭和51年4月2日 昭和56年12月増築 平成23年1月増築
いなほ消防署	稲敷市犬塚 1,570番地2	鉄骨造 2階建	庁舎 1868.26 m ² 防災倉庫 350.00 m ² 訓練塔(5階建) 180.00 m ²	平成27年3月30日
阿見消防署	阿見町若栗 3,337番地	鉄筋コンクリート造 2階建	庁舎 1358.83 m ²	昭和58年7月10日
利根消防署	利根町布川 2,073番地	鉄筋コンクリート造 平家建	庁舎 303.40 m ² 車庫 40.00 m ² 倉庫 29.43 m ²	昭和54年1月25日 昭和63年1月増築 平成10年3月増築
龍ヶ崎消防署 新河分署	河内町長竿 5,765番	鉄骨造 2階建	庁舎 719.79 m ² 倉庫 138.00 m ²	平成24年3月24日
いなほ消防署 桜東分署	稲敷市上須田 355番1	鉄骨造 平家建	庁舎 650.50 m ² 倉庫 100.00 m ²	平成22年2月11日
龍ヶ崎消防署 西部出張所	龍ヶ崎市馴柴町 1区23番地の2	鉄筋コンクリート造 平家建	庁舎 319.75 m ²	昭和62年3月12日
牛久消防署 東部出張所	牛久市久野町 798番地1	鉄骨造 平家建	庁舎 575.00 m ²	平成21年3月29日

消 防 職 員 配 置 状 況

平成27年4月1日現在

階級 所属		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
		消 防 本 部	消 防 長	1							
	消 防 次 長		1								1
	総 務 課		1		2	1	2			1	7
	予 防 課			1	1	2	2				6
	警 防 課			5	5	4					14
	救 急 課			2	2						4
	通 信 指 令 課		1	1	8	6					16
	各 機 関 派 遣				2	2					4
	小 計	1	3	9	20	15	4			1	53
龍ヶ崎消防署			1	2	11	8	12	12	15		61
	新河分署			1	3	5	5	5	6		25
	西部出張所				3	3	6	4	4		20
	小 計		1	3	17	16	23	21	25		106
牛久消防署			1	3	11	9	12	12	13		61
	東部出張所			1	2	3	4	5	4		19
	小 計		1	4	13	12	16	17	17		80
いなほ消防署			1	1	11	6	12	10	11		52
	桜東分署			1	4	4	6	4	6		25
	小 計		1	2	15	10	18	14	17		77
阿見消防署			※ 1	2	17	7	7	9	8		51
利根消防署			1	1	8	4	4	5	4		27
合 計		1	8	21	90	64	72	66	71	1	394

※ 消防次長を兼務

消 防 職 員 階 級 別 勤 続 年 数

平成27年4月1日現在

階級 勤続年数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
1 年未満								19		19
1 年以上								16		16
2 "								16		16
3 "							2	10		12
4 "							2	7		9
5 "							9	1		10
6 "							11	1		12
7 "						1	13	1		15
8 "							4			4
9 "							1			1
10 "						5	1			6
11 "						1	3			4
12 "										
13 "						1	1			2
14 "					1	4	3			8
15 "					1	3				4
16 "					1	8	1			10
17 "						8	5			13
18 "					2	14	2			18
19 "					13	5	2			20
20 "					5	5	2			12
21 "					7	6				13
22 "					1					1
23 "				2	5	5	2			14
24 "				3	7	5	2			17
25 "				1						1
26 "										
27 "										
28 "				15	11					26
29 "										
30 "										
31 "				4						4
32 "										
33 "			1	4	1					6
34 "		1	2	16						19
35 "										
36 "		1		9	3					13
37 "			3	9						12
38 "		1	5	9	4	1			1	21
39 "		1	3	8	2					14
40 "	1	4	7	10						22
41 "										
計	1	8	21	90	64	72	66	71	1	394
平均勤続年数	40.0	38.4	38.0	34.2	24.4	17.9	10.1	1.7	38.0	20.0

消 防 職 員 階 級 別 年 齢

平成27年4月1日現在

階級 年 齢	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
18 歳								3		3
19 歳								6		6
20 歳								4		4
21 歳								5		5
22 歳								10		10
23 歳								9		9
24 歳							2	13		15
25 歳							4	9		13
26 歳							3	5		8
27 歳							8	2		10
28 歳							4	4		8
29 歳						1		4		5
30 歳							6			6
31 歳							8			8
32 歳						2	2	1		5
33 歳						2	2			4
34 歳						6	2			8
35 歳						4	2			6
36 歳						7	3			10
37 歳					4	6	4			14
38 歳					4	9	4			17
39 歳					6	12	1			19
40 歳					2	5	1			8
41 歳				1	10	7	1			19
42 歳					2	4	4			10
43 歳					5	2				7
44 歳				1	7	1	1			10
45 歳				1	1	2				4
46 歳				6	7					13
47 歳				2	4					6
48 歳				3						3
49 歳				4		1				5
50 歳				3	1					4
51 歳				3						3
52 歳				6						6
53 歳				3	2					5
54 歳		1		5	2					8
55 歳			2	14	1					17
56 歳		1	5	10	4				1	21
57 歳		1	5	10	2					18
58 歳	1	4	7	14						26
59 歳		1	2	4		1				8
60 歳										
計	1	8	21	90	64	72	62	75	1	394
平均年齢	58.0	57.3	57.1	53.7	44.4	38.5	32.1	23.5	56.0	40.5

職員教育・研修実施状況

平成26年4月1日～平成27年3月31日

機 関	区 分	消防士	消 防 副士長	消 防 士 長	消 防 司令補	消 防 司 令	司令長 以 上	合 計
消防大学校	幹部科					1		1
	違反是正特別講習					1		1
	警防科				1			1
	救助科				1			1
	火災原因調査科				1			1
	警防リーダー講習				1	1		2
茨城県立 消防学校	初任科	16						16
	特殊災害科			1	2			3
	火災調査科	1	1	2				4
	警防科			1				1
	救急科	13						13
	救助科	2	1	2				5
	水難救助課程	2						2
	ポンプ操法指導者研修会			1	2			3
気管挿管再講習		1		6	1		8	
救急救命 研 修 所	指導救命士					3		3
	救急救命士		2					2
その他 機 関	MCLS 講習			2	8	4	2	16
	AHA-ACLS 講習		1					1
	AHA-BLS 講習	3	2		2			7
	AHA-PEARS 講習		1	1		1		3
	ロープレスキュー技能	1	1	1				3
	スィフトウォーターレスキュー				1	1		2
	潜水技術研修		2					2
	小型移動式クレーン運転技能	2	4					6
	玉掛技能		4					4
	放射線事故初動セミナー				1	1		2
	小型船舶免許	1	1	1				3
	車両系建設機械運転技能		1		1			2
	消防・救急緊急車両運転技術		1					1
	チェーンソー		2	1	1			4
	酸素欠乏危険作業主任者		1	3				4
	衛生管理者受験講習				1	2		3
	消防職員安全衛生研修				2			2
	惨事ストレス初級研修					1		1
	予防技術検定		3	1	1			5
	組合共同 研 修	新採職員研修	16					
第2部職員研修		1	2	2				5
法制執務研修				1	1	3		5
政策法務研修				1	1	3		5
窓口サービス向上研修		4						4

(阿見町消防本部含む)

組 合 予 算

1 平成 27 年度稲敷地方広域市町村圏事務組合当初予算額

(単位：千円)

歳 入	%	歳 出	%
分賦金及び負担金	3,791,309	議 会 費	3,552
使用料及び手数料	7,096	総 務 費	76,812
県 支 出 金	8,500	消 防 費	3,633,300
財 産 収 入	44	公 債 費	193,936
寄 付 金	17,000	予 備 費	900
繰 越 金	17,000		
諸 収 入	2,551		
組 合 債	65,000		
合 計	3,908,500	合 計	3,908,500

2 人口・世帯当りの消防費

区 分	消 防 予 算 (千円)	一 人 当 り の 消 防 費 (円)	一 世 帯 当 り の 消 防 費 (円)	備 考	
				人 口	世 帯
平成 23 年度	3,402,744	13,430	36,899	253,367	92,218
平成 24 年度	3,181,383	12,629	34,216	251,920	92,980
平成 25 年度	3,207,076	12,796	34,153	250,630	93,904
平成 26 年度	4,541,841	18,223	47,900	249,241	94,819
平成 27 年度	3,633,300	12,271	31,687	296,097	114,661

相 互 応 援 協 定 状 況

締 結 先		締 結 年 月 日
茨 城 県	取 手 市 消 防 本 部	昭 和 5 7 年 7 月 6 日
	つ く ば 市 消 防 本 部	昭 和 5 8 年 9 月 2 6 日
	茨 城 県 広 域	平 成 元 年 4 月 1 日
	茨 城 県 高 速 自 動 車 道 等 関 係 消 防 本 部	平 成 1 9 年 3 月 1 0 日
千 葉 県	香 取 広 域 市 町 村 圏 事 務 組 合 消 防 本 部	昭 和 5 6 年 1 1 月 1 日
	我 孫 子 市 消 防 本 部	昭 和 5 7 年 1 月 1 日
	栄 町 消 防 本 部	平 成 1 8 年 3 月 6 日
	成 田 市 消 防 本 部	平 成 2 1 年 1 0 月 3 0 日

予 防



- 消防用設備等（スプリンクラー設備）研修会

予防広報活動の紹介

予防課では、住民の生命や財産を火災や自然災害から守る為、店舗や病院、事業所への防火査察、避難訓練指導などの業務のほか、以下のような取組みを行い、火災による死傷者の低減、住宅火災の減少に努めています。

【社会福祉施設等における夜間防火管理体制（実践的訓練）研修会】



管内の大規模社会福祉施設 38 施設、67 名の職員の方に参加して頂き、夜間に火災が発生したことを想定に研修会を実施いたしました。社会福祉施設の火災危険やマニュアル訓練の実施方法について講義を行いました。自力避難困難者の階段避難を考慮し、コーケンメディカル㈱の協力のもと、階段避難車（EVAC+CHAIR）の体験をしました。

【住宅防火対策推進活動】



一般財団法人全国消防機器会
が実施する「住宅用火災警報器
等の配布モデル事業」に龍ヶ崎
市をモデル地区として申請し、
協会より、住宅用火災警報器 100
個及び住宅用消火器 25 本が寄
贈されました。寄贈された機器
は、龍ヶ崎市のご協力により、市内の高齢者世帯に
設置されました。

【職員研修】






職員の知識向上、人材育成を目的とした研修会を開催しています。昨年度は、消防用設備等、危険物施設に関する研修会を各 2 回、火災調査、違反是正に関する研修会を各 1 回開催しました。予防各分野において精通した職員が講師となり研修会を行いました。

民間防火組織の活動紹介

当消防本部管内には、幼年消防クラブ 18 団体、少年消防クラブ 5 団体、婦人防火クラブ 2 団体が組織されています。幼年・少年消防クラブは火災予防運動期間中に消防職員と街頭広報活動を行い地域に貢献するとともに、このような活動を通して幼少期からの防火思想の育成に取り組んでいます。また、婦人防火クラブは、住宅用火災警報器の設置促進活動や応急手当技術の習得に積極的に取り組んでいます。

●主な行事内容

平成 26 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> 各幼年消防クラブ任命式 
5 月	<ul style="list-style-type: none"> 日立建機フェスティバル 龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による住宅用火災警報器設置促進広報
6 月	<ul style="list-style-type: none"> 北文間地区防災訓練 龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による住宅用火災警報器設置促進広報
8 月	<ul style="list-style-type: none"> 第 29 回茨城県幼年少年婦人防火大会 常陸大宮市文化センターにおいて開催された防火大会に各団体の代表者が参加し、以下のとおり各部門で日頃の活動に対しての表彰がありました。 優良民間防火組織クラブ員表彰（龍ヶ崎市婦人防火クラブ員 1 名） 優良民間防火組織クラブ指導者表彰（牛久市松ヶ丘婦人消防隊 1 名） 優良民間防火組織表彰（ながと夢保育園幼年消防クラブ）
9 月	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県婦人防火クラブ連絡協議会指導者研修会 龍ヶ崎市婦人防火クラブ連絡協議会及び牛久市松ヶ丘婦人消防隊が指導者研修会に参加されました。 
10 月	<ul style="list-style-type: none"> 龍ヶ崎市ふれあい広場 2014 龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による住宅用火災警報器設置促進広報
11 月	<ul style="list-style-type: none"> 秋季火災予防運動（11 月 9 日～15 日） 龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による街頭広報及び一般家庭防火診断 龍ヶ崎市立城南中学校少年消防クラブ員による街頭広報 牛久文化認定こども園幼年消防隊員による街頭広報 
平成 27 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> 春季火災予防運動（3 月 1 日～7 日） 龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による街頭広報及び一般家庭防火診断 龍ヶ崎市立城西中学校少年消防クラブ員による街頭広報 牛久幼稚園、ひたち野牛久幼稚園幼年消防クラブ員による街頭広報

市町村別危険物施設状況（稲敷広域）

平成27年3月31日現在

施設別 市町村別	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
龍ヶ崎市	6	35	35	1	39		28	4	37	29	214
牛久市	1	35	14		20		18	3	30	15	136
稲敷市	3	36	43	2	52	4	17	12	51	27	247
利根町		1			5		9	1	8	6	30
河内町		4	4		5		4	1	10	9	37
美浦村	1	10	5	3	9		6		13	9	56
合計	11	121	101	6	130	4	82	21	149	95	720

危険物製造所等許可状況（稲敷広域）

平成26年4月1日～平成27年3月31日

施設別 区分	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
設置許可		5	2		2		2	1	3		15
変更許可	5	7	4		2		1		29	26	74
完成検査	6	11	4		3		3	1	35	25	88
合計	11	23	10		7		6	2	67	51	177

危険物規制事務手数料（稲敷広域）

平成26年4月1日～平成27年3月31日

合計	設置許可 手数料	変更許可 手数料	完成検査 手数料	タンク水圧 （水張） 手数料	仮使用手数料	仮貯蔵手数料	仮取扱手数料
3,904	471	1,758	1,125	173	361		16

（単位：千円）

市町村別危険物施設状況（阿見町）

平成27年3月31日現在

施設別 市町村別	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
阿 見 町	6	54	64		30		18	66	28	41	307

危険物製造所等許可状況（阿見町）

平成26年4月1日～平成27年3月31日

施設別 区分	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
設置許可	1	1			1			1		1	5
変更許可	12	6	2		4				7	4	35
完成検査	14	7	2		5			1	6	7	42
合 計	27	14	4		10			2	13	12	82

危険物規制事務手数料（阿見町）

平成26年4月1日～平成27年3月31日

合 計	設置許可 手数料	変更許可 手数料	完成検査 手数料	タンク水圧 (水張) 手数料	仮使用手数料	仮貯蔵手数料	仮取扱手数料
1,563	169	780	501		113		

(単位：千円)

市町村別防火対象物現況

平成27年3月31日現在

防火対象物の区分 (令別表第一)		市町村別		龍	牛	稲	利	河	美	合	阿
		ヶ	崎	ヶ	久	敷	根	内	浦	計	見
		市	市	市	市	市	町	町	村		町
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場		2		3			1	6	2
	ロ	公会堂又は集会場		33	41	37	9	8	18	146	32
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの				1				1	
	ロ	遊技場又はダンスホール		7	8	8			1	24	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ	カラオケボックス等		2	3					5	1
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの		4		2		1		7	1
	ロ	飲食店		60	49	39	1	6		155	23
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場		98	125	47	11		5	286	75
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの		10	7	23		5	3	48	4
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅		641	538	29	9		79	1,296	313
6	イ	病院、診療所又は助産所		36	33	20	6	4	4	103	29
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等		22	28	11	8	4	9	82	11
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等、児童福祉施設等		30	31	22	7		9	99	17
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校		7	12	15	3	11	9	57	20
7		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校		89	63	48	20		10	230	62
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの		2	3	1	2		1	9	2
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場		2	1	2				5	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場									
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る）		1	1					2	
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの		15	18	7	7		1	48	1
12	イ	工場又は作業場		229	140	328	33	65	61	856	166
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ									
13	イ	自動車庫又は駐車場		17	11	25	1	4	13	71	7
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		3						3	2
14		倉庫		168	103	262	21	68	82	704	134
15		前各項に該当しない事業場		239	226	235	28	61	217	1,006	209
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの		103	102	32	6	5	7	255	33
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物		46	72	26	1	3	11	159	13
17		重要文化財、重要有形民族文化財等		2	2	4	3			11	
合 計				1,868	1,617	1,227	176	245	541	5,674	1,160

法 届 出 状 況

市町村別 届出種別		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	合 計	阿 見 町
		消 防 用 設 備 等 着 工 届	29	71	39		3	1	143
消 防 用 設 備 等 設 置 届	119	168	81	3	6	3	380		
消 防 用 設 備 等 特 例 申 請 書									
消 防 用 設 備 等 点 検 報 告 書	351	422	402	43	53	85	1,356	256	
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届	105	99	46	13	6	13	282	58	
防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	4	5	4				13		
消 防 計 画 書 届	136	140	76	18	17	12	399	84	
防 災 管 理 に 係 る 消 防 計 画 書	2	1					3	1	
自 衛 消 防 組 織 設 置 届 (変 更)		1					1	5	
圧 縮 ア セ チ レ ン 貯 蔵 取 扱		2	1			1	4		
無 水 硫 酸 貯 蔵 取 扱									
液 化 石 油 ガ ス 貯 蔵 取 扱	9	12	3				24		
生 石 灰 貯 蔵 取 扱			2		1		3		
毒 物 貯 蔵 取 扱			1				1		
劇 物 貯 蔵 取 扱									
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	64	34	25	5	1	10	139	23	
防 災 管 理 定 期 点 検 結 果 報 告 書		2		1			3		
本 部 受 付	消 防 用 設 備 等 着 工 届	6	4	1			11	51	
	消 防 用 設 備 等 設 置 届	20	19	3		1	43	126	
	消 防 用 設 備 等 特 例 申 請 書			1			1		
	製 造 所 等 設 置 許 可 申 請	4	4	3	1		12	5	
	製 造 所 等 変 更 許 可 申 請	20	15	26	5	3	83	35	
	製 造 所 等 仮 使 用 承 認 申 請	17	8	23	5	2	69	20	
	製 造 所 等 完 成 検 査 申 請	23	15	26	5	3	85	42	
	危 険 物 規 則 に 関 す る 届 等	102	59	69	10	7	20	267	126
合 計	1,011	1,081	832	109	102	187	3,322	832	

条 例 届 出 状 況

市町村別 届出種別		市町村別					合 計	阿 見 町	
		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	利 根 町	河 内 町			美 浦 村
防火対象物使用開始届		37	52	31	3	1	3	127	22
炉		1	1	1				3	
厨 房 設 備			3					3	
温 風 暖 房 機				3				3	
ボイラー・給湯湯沸設備		4	8	7		1	1	21	6
乾 燥 設 備		1	3	1				5	
サ ウ ナ 設 備									
ヒートポンプ冷暖房									
火花を生ずる設備									
放 電 加 工 機									
変 電 設 備		19	40	19	2	6	5	91	10
発 電 設 備		4	4	2	1			11	4
蓄 電 池 設 備		10	11	10	3	1	2	37	4
ネ オ ン 管 設 備									
水素ガスを充填する気球									1
火災と紛らわしい行為		39	19	13	27	9	6	113	6
煙火打ち上げ・仕掛け		24	15	28	10	10		87	16
催 物 開 催		14	6	1	3	1	4	29	2
水道の断水・減水									
道 路 工 事		116	60	126	21	19	76	418	213
指定洞道等の届出									
禁止行為の解除									
少 量	少量危険物貯蔵取扱	6	19	6	1			32	6
	移動タンク貯蔵取扱								
指 定 可 燃 物	可 燃 性 固 体 類	2						2	
	石 炭 ・ 木 炭 類								
	可 燃 性 液 体 類			1				1	
	合 成 樹 脂 類	5		2				7	7
	綿花・ぼろ・紙くず等	3						3	
合 計		285	241	251	71	48	97	993	297

中高層建築物（稲敷広域）

平成27年3月31日現在

防火対象物の区分 (令別表第一)		階別														計	
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階			
1	イ	劇場, 映画館, 演芸場又は観覧場	1														1
	ロ	公会堂又は集会場	3														3
2	イ	キャバレー, カフェー, ナイトクラブ その他これらに類するもの															
	ロ	遊技場又はダンスホール															
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等															
	ニ	カラオケボックス, その他遊興のための 個室等															
3	イ	待合, 料理店その他これらに類するもの	1														1
	ロ	飲食店	2														2
4		百貨店, マーケット, その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	6	1													7
5	イ	旅館, ホテル, 宿泊所その他これらに類するもの	8	5	2				1		1						17
	ロ	寄宿舎, 下宿又は共同住宅	188	53	73	28	9	4	1	2	2	3	5	2	4		374
6	イ	病院, 診療所又は助産所	15	5	2		1	1									24
	ロ	老人短期入所施設, 養護老人ホーム, 特別養護老人ホーム, 有料老人ホーム等	7	3													10
	ハ	老人デイサービス, 軽費老人ホーム, 老人福祉センター等, 児童福祉施設等	1	1													2
	ニ	幼稚園, 盲学校, 聾学校又は養護学校															
7		小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校, 高等専門学校, 大学, 専修学校, 各種学校	72	21	2	2	3	1									101
8		図書館, 博物館, 美術館その他これらに類するもの															
9	イ	蒸気浴場, 熱気浴場その他これらに類する公衆浴場															
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場															
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場(旅客用に限る)															
11		神社, 寺院, 教会その他これらに類するもの	1														1
12	イ	工場又は作業場	22	3	4						1						30
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		1													1
13	イ	自動車車庫又は駐車場	1	2													3
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫															
14		倉庫	3		1												4
15		前各項に該当しない事業場	65	11	6	5		1									88
16	イ	複合用途防火対象物のうち, その一部が(1)項から(4)項まで, (5)項イ, (6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	62	9	9	7	1	2					1				91
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	47	14	9	2	2				1						75
17		重要文化財, 重要有形民族文化財等															
合 計			505	129	108	44	16	9	2	3	4	3	6	2	4		835

中高層建築物（阿見町）

平成27年3月31日現在

防火対象物の区分 (令別表第一)		階別	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	計
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場														
	ロ	公会堂又は集会場	1													1
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ その他これらに類するもの														
	ロ	遊技場又はダンスホール														
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等														
	ニ	カラオケボックス、その他遊興のための 個室等														
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの														
	ロ	飲食店	1													1
4		百貨店、マーケット、その他の物品販 売業を営む店舗又は展示場	3													3
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに 類するもの	1	1												2
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	44		4		3	1	1							53
6	イ	病院、診療所又は助産所	5		2		1									8
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、 特別養護老人ホーム、有料老人ホーム 等	6	9												15
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、 老人福祉センター等、児童福祉施設等														
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校														
7		小学校、中学校、高等学校、中等教育 学校、高等専門学校、大学、専修学 校、各種学校	14	4	1		1									20
8		図書館、博物館、美術館その他これら に類するもの														
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類 する公衆浴場														
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場														
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機 の発着場（旅客用に限る）														
11		神社、寺院、教会その他これらに類す るもの														
12	イ	工場又は作業場	13	5												18
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ														
13	イ	自動車車庫又は駐車場														
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫														
14		倉庫	2													2
15		前各項に該当しない事業場	7	9	1			1								18
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部 が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6) 項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用 途に供されるもの	5													5
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の 複合用途防火対象物	4	3	1											8
17		重要文化財、重要有形民族文化財等														
合 計			106	31	9		5	2	1							154

建築確認事務状況

防火対象物の区分 (令別表第一)		市町村別							合 計	阿 見 町
		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	利 根 町	河 内 町	美 浦 村			
専 用 住 宅		40	41	23	1	5	2	112	10	
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場								
	ロ	公会堂又は集会場		2		2		4	3	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの								
	ロ	遊技場又はダンスホール	1		2			3		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等								
	ニ	カラオケボックス、その他遊興のための個室等								
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1					1		
	ロ	飲食店	2	2	2			6	1	
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	5	7	3			15	5	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの								
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	6	13				19	5	
6	イ	病院、診療所又は助産所					1	1	3	
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等	12	4	3		2	21	1	
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等、児童福祉施設等	2	4	1		1	10	4	
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校		1				1		
7		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	1	2				3	1	
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの								
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場								
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場								
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る）								
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの		2	1	1		4		
12	イ	工場又は作業場	5	5	4		1	2	17	6
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫又は駐車場		1	6			7		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫								
14		倉庫	16	2	9			27	4	
15		前各項に該当しない事業場	5	16	15		2	3	41	12
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	2	6					8	2
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物		1	1			2	4	1
17		重要文化財、重要有形民族文化財等				2		2		
合 計			98	109	70	6	11	12	306	58

広報広聴実施状況

1 広報活動

	種 別	実 施 内 容	実 施 件 数
稲敷広域	広報巡回・放送等	消防車両による広報巡回	11件
		防災行政無線による広報	30件
	広報紙等の配布	各種ポスター・新聞・チラシ等	248件
		横断幕・懸垂幕	28件
立て看板等の設置	火災予防週間立て看板	67件	
	阿見町	広報巡回・放送等	消防車両による広報巡回
防災行政無線による広報			-
広報紙等の配布		各種ポスター・新聞・チラシ等	2件
		横断幕・懸垂幕	1件
立て看板等の設置	火災予防週間立て看板	3件	

2 各種講習会・広聴活動

	種 別	実 施 内 容	実 施 件 数
稲敷広域	各種イベント	消防ひろば	24件
		街頭広報	18件
		防火パレード	10件
	各種講習会	避難訓練・消火訓練	299件
		防火講話等	181件
	庁舎見学等	庁舎・車両見学	15件
消防署体験学習		70件	
防火映画上映		104件	
阿見町	各種イベント	消防ひろば	-
		街頭広報	-
		防火パレード	-
	各種講習会	避難訓練・消火訓練	55件
		防火講話等	11件
	庁舎見学等	庁舎・車両見学	7件
消防署体験学習		1件	
防火映画上映		-	

民間防火組織一覽

1 幼年消防クラブ

平成27年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員		
			男	女	計
龍ヶ崎市	さとう文化学園龍ヶ崎文化幼稚園幼年消防隊	昭和59年11月27日	27	17	44
〃	龍ヶ崎つばめ保育園幼年消防隊	平成15年6月2日	8	7	15
〃	ながと夢保育園幼年消防クラブ	平成23年9月1日	18	17	35
〃	しらはね保育園幼年消防クラブ	平成23年9月1日	10	9	19
牛久市	うしく文化認定こども園幼年消防隊	昭和59年7月1日	35	20	55
〃	牛久幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年9月13日	50	55	105
〃	ひたち野牛久幼稚園幼年消防クラブ	平成15年5月26日	35	36	71
阿見町	阿見認定こども園幼年消防クラブ	昭和61年8月1日	30	20	50
〃	荒川沖幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年9月2日	33	37	70
〃	中郷保育所幼年消防クラブ	昭和61年9月2日	18	16	34
〃	二区保育所幼年消防クラブ	昭和61年9月2日	18	5	23
〃	阿見みどり幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年4月1日	44	47	91
〃	ふたば幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年4月1日	31	23	54
〃	あゆみ保育園幼年消防クラブ	平成13年9月4日	12	15	27
〃	南平台保育所幼年消防クラブ	平成15年4月1日	14	10	24
〃	阿見ひかり保育園幼年消防クラブ	平成22年4月1日	19	9	28
〃	さくら保育園幼年消防クラブ	平成25年11月1日	20	15	35
利根町	利根大和幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年12月1日	9	11	20
合 計			431	369	800

2 少年消防クラブ

平成27年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員		
			男	女	計
龍ヶ崎市	龍ヶ崎市城南中学校少年消防クラブ	昭和36年4月1日	4	2	6
〃	龍ヶ崎市愛宕中学校少年消防クラブ	昭和36年8月26日	12		12
〃	龍ヶ崎市城西中学校少年消防クラブ	平成7年6月1日	7	7	14
阿見町	阿見町立君原小学校少年消防クラブ	平成2年10月1日	7	5	12
〃	阿見町立吉原小学校少年消防クラブ	平成2年11月1日	7	3	10
合 計			23	9	32

3 婦人防火クラブ

平成27年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員
龍ヶ崎市	龍ヶ崎市婦人防火クラブ連絡協議会 根町・田町・横町地区婦人防火クラブ 新町・米町地区婦人防火クラブ 下町・砂町地区婦人防火クラブ 上町・高砂・直鮎地区婦人防火クラブ 八原地区婦人防火クラブ 馴柴地区婦人防火クラブ 馴馬・川原代地区婦人防火クラブ 北文間地区婦人防火クラブ	平成元年9月27日	300
牛久市	牛久市松ヶ丘婦人消防隊	平成7年7月1日	4
合 計			304

警 防



● 指揮訓練

消防機動力

消防活動に欠かせない消防車両などの消防機械は、水槽付消防ポンプ自動車や救急車のほか、化学消防ポンプ自動車、梯子付消防自動車、救助工作車、水槽車などの特殊消防自動車、その他の車両、トライアルバイク、救助艇を管内に 104 台配置しています。

<p>化学消防ポンプ自動車 3台</p>	<p>梯子付消防自動車 3台</p>	<p>救助工作車 3台</p>
		
<p>化学消火薬剤 1,200ℓと、水 1,300ℓが積載されており、水だけによる消火が不可能な場合に泡消火剤を放射し消火することができます。車両の上部には放水銃が装備され、大量放水・泡放射が可能となっています。</p>	<p>中高層建物など高所での消火活動や、人命救助に使用されます。写真は 40m級の車両で、最大で 40m、起立角度は 75° から -10° まで可動し、水難事故等で停車位置よりも低い位置に要救助者がいる場合に有効です。</p>	<p>火災・交通事故・水難事故等の様々な現場において、人命救助活動に使用されます。特に、交通事故などで車両に閉じ込められた人を救助することが多く、クレーン、ウィンチ、油圧救助器具等を装備しています。</p>
<p>水槽車 1台</p>	<p>資機材搬送車 3台</p>	<p>水槽付消防ポンプ自動車 12台</p>
		
<p>10 t のステンレス製水槽と、小型動力ポンプが装備され、火災消火活動等で必要不可欠な水を各消防車両へ補給し、また飲料水としても使用できる水を積載していることから震災時等においても給水車として活用できます。</p>	<p>大規模災害、特殊災害、水難事故等の災害種別に応じて、必要な資機材を現場へ迅速に搬送することができます。写真の車両には、最大で 1,000kg 昇降可能装置が装備されており、少人数で荷物の積み下ろしができます。</p>	<p>火災現場において主力となり、2,000ℓの水を積載し、消火栓や防火水槽を利用することなく、消火活動を行うことができます。CAFS※を使用することで、少ない水での消火活動が可能となります。(一部 CAFS 未装備車有)</p>

<p>消防ポンプ自動車 9台</p>  <p>主に、水槽付消防ポンプ自動車に水を送る中継車として使用されます。小型のため、狭隘地では火災現場へ最接近し、<u>CAFS</u>※と600ℓの水槽の水を使用し、直ちに消火することができます。(一部CAFS、水槽未装備車有)</p>	<p>救急車(高規格及び2B) 16台</p>  <p>傷病者に対し救急活動を行うための車内空間と、救急救命処置に必要な救急資器材、固定装置、防振架台等を装備し救急処置拡大に対応できる構造になっています。</p>	<p>指揮車 7台</p>  <p>災害現場で指揮を執る「指揮隊」が搭乗し運用します。出場と同時に、現場の詳細、出場隊の状況など多くの情報を取り入れ、的確な指揮命令を下すための資器材、通信施設等を装備しています。</p>
<p>広報車 6台</p>  <p>災害現場における現場広報の支援に加え、防火対象物の査察執行、各種訓練指導、消防水利調査、火災予防週間における広報活動等、多目的に活用する車両です。</p>	<p>トライアルバイク 10台</p>  <p>オフロードタイプの軽二輪車(排気量50cc以下)で、地震などの大規模災害時には、道路における通行障害や交通渋滞を避けることができ、迅速な被害調査、状況把握等を行うことができます。</p>	<p>救助艇 10艇</p>  <p>河川・湖沼にて発生した水難事故等において、迅速な救助及び検索活動を行います。水中探索器を装備しているため、水面からの水中検索にも威力を発揮します。</p>

※ CAFSとは、水に少量の消火薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発泡させる装置で、水の表面積を広げることで効率良く消火することができます。

- 消防車両の更新基準
 - 特殊車(化学車、梯子車、救助工作車) 20年
 - 消防ポンプ車 15年
 - 救急車 12年

※ この基準を基に走行距離、出場件数、性能維持、修繕履歴等を総合的に検討し、短縮又は延長を判断し更新しております。

消 防 車 両 等 の 配 置 状 況

平成27年4月1日現在

所属	車種別	登録番号	車名等	型 式	排気量	年 式
消 防 本 部	乗 用 車	土 33や3129	ト ヨ タ	E-JZS151	2,490	H 9. 7. 8
	指 揮 車	土 800さ4434	ニ ッ サ ン	KG-VWMGE24	3,150	H12. 9.21
	指 揮 車	土 800さ 292	ニ ッ サ ン	GF-A33	1,990	H11.6.11
	防 火 広 報 車	土 300ひ6447	ニ ッ サ ン	UA-RC24	2,480	H15. 9.30
	予 防 査 察 車	土 331も2013	ト ヨ タ	DAA-ZVW41W	1,790	H25. 9.20
	予 防 査 察 車	土 501ゆ8920	ホ ン ダ	DAA-GP2	1,330	H24.10. 1
	救 急 救 助 車	土 480き1774	ミ ツ ビ シ	GBD-U61V	650	H23.10. 3
	総 務 車	土 501ら9055	ホ ン ダ	DAA-GP2	1,330	H25. 8. 1
	警 防 車	土 52つ8837	ミ ツ ビ シ	E-CB2W	1,460	H11. 3.31
龍 ヶ 崎 署	化 学 車	土 88さ2311	イ ス ズ	KC-CVR80K2改	15,200	H 9.12. 3
	救 助 工 作 車	土 830さ2010	日 野	BDG-GX7JGWA改	6,400	H22. 2.22
	水 槽 付 ポンプ車	土 800は 70	ミ ツ ビ シ	KK-FK61HGX	8,200	H12. 1.17
	水 槽 付 ポンプ車	土 88さ2437	イ ス ズ	KC-FSR33G4V改	8,220	H11. 1.18
	普 通 ポンプ車	土 830す 50	日 野	SKG-XZU685M	4,000	H24. 1.30
	普 通 ポンプ車	土 800さ2194	イ ス ズ	KK-NKR71GN	4,570	H12. 1.14
	救 急 車	土 800す6193	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H19. 2.15
	救 急 車	土 800す3226	ト ヨ タ	TC-VCH22S	3,370	H17. 2.24
	指 揮 車	土 88す9336	ト ヨ タ	T-GS136V改	1,990	H 6. 6.24
	査 察 車	土 480う 155	ス バ ル	LE-TV1	650	H18. 7.11
	資 材 搬 送 車	土 830せ1220	日 野	TKG-XZU720M	4,000	H24.10.29
	資 材 搬 送 車	土 430ち 119	ト ヨ タ	ABF-TRY230	1,990	H22. 2.22
牛 久 署	梯 子 車	土 88さ1730	日 野	U-PR2FNAF	17,230	H 6.11.22
	水 槽 付 ポンプ車	土 800は 469	ミ ツ ビ シ	KK-FK61HGX	8,200	H15.12.17
	普 通 ポンプ車	土 800は1018	日 野	BDG-GD7JGWA改	6,400	H21. 2. 6
	普 通 ポンプ車	土 830さ1453	日 野	TKG-XZU685M	4,000	H26.12.5
	救 急 車	土 830た 71	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H22. 3.25
	救 急 車	土 830さ1372	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H25.11.19
	指 揮 車	土 800さ4215	ニ ッ サ ン	GF-U30	2,380	H12. 8.25
	査 察 車	土 501の1982	マ ツ ダ	DBA-DY3W	1,340	H18. 5.19
ボートトレーラー	土 800る1083	シーマリントレーラ	—	—	H23. 5.23	
い な ほ 署	梯 子 車	土 88さ2156	日 野	KC-FF1JKBA改	7,960	H 8.11. 5
	救 助 工 作 車	土 88さ2448	ミ ツ ビ シ	KC-FK629GZ改	8,200	H11. 2.15
	水 槽 付 ポンプ車	土 830ら 119	日 野	BDG-GX7JGWA改	6,400	H21. 2. 6
	普 通 ポンプ車	土 830す 54	日 野	BDG-XZU378M	4,000	H23. 1. 7
	救 急 車	土 830さ1262	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H24.12. 6
	救 急 車	土 800さ7635	ト ヨ タ	GE-VCH22S	3,370	H13.11. 9
	指 揮 車	土 830さ1482	ト ヨ タ	CBF-TRH200K	1,990	H26. 1. 9
	広 報 車	土 800す 857	ニ ッ サ ン	UA-WFY11	1,490	H15. 8.29
	査 察 車	土 44り2917	ニ ッ サ ン	GA-VEW10	1,590	H 9. 9.30
	マイクロバス	土 22す3673	ト ヨ タ	U-HDB51	4,160	H 7. 6.30
	マイクロバス	土 200さ1102	ト ヨ タ	BDG-XZB51	4,000	H20.7.25
	ボートトレーラー	土 800る 487	トレールライト	—	—	H15.10.29
	ボートトレーラー	土 800る1092	シーマリントレーラ	—	—	H23. 7. 4
	ボートトレーラー	土 800る1053	シーマリントレーラ	—	—	H22. 8. 2
非常用救急車	土 800さ7634	ト ヨ タ	GE-VCH22S	3,370	H13.11. 9	

所属	車種別	登録番号	車名等	型式	排気量	年式
阿見署	梯子車	土 88さ2177	日 野	KC-PR4FPDF	20,780	H9.1.8
	化学車	土 830さ1518	日 野	SDG-GX7JGAA改	6,400	H27.3.17
	救助工作車	土 88さ1391	三 菱	U-FK417FZW改	7,540	H3.11.20
	水槽車	土 88さ 735	三 菱	FU413JD改	14,880	S61.9.29
	資材搬送車	土 88す7384	ト ヨ タ	T-YY51改	1,810	H4.6.29
	水槽付ポンプ車	土 800は1024	日 野	BDG-FR1APYA	8,860	H21.3.25
	普通ポンプ車	土 88に3974	三 菱	KC-FG538D	4,560	H8.12.5
	救急車	土 800す9390	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H26.10.16
	救急車	土 800す8344	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H24.3.15
	指揮車	土 800す8993	ト ヨ タ	DBA-ZRR70G	1,980	H25.9.26
	広報車	土 300て9567	ト ヨ タ	GF-RZN185W	2,690	H13.7.24
	査察車	土 880あ 490	ニ ッ サ ン	EBD-U71V	650	H25.3.28
	非常用消防車	土 88さ2322	日 野	KC-GD1JGBA改	7,960	H10.1.5
	非常用救急車	土 800す3269	ト ヨ タ	TC-VCH32S	3,370	H17.3.3
利根署	水槽付ポンプ車	土 830す1334	日 野	SDG-GD7JGAA改	6,400	H25.1.8
	普通ポンプ車	土 88に6424	イ ス ズ	KC-NKS71GR	4,570	H9.12.5
	救急車	土 830は 119	ニ ッ サ ン	TC-FPWGE50改	3,490	H16.1.19
	指揮車	土 800す 864	ニ ッ サ ン	UA-TC24	1,990	H15.9.1
	ボートトレーラー	土 800る1216	シーマリントレーラ	—	—	H25.8.20
新河分署	化学車	土 830さ2012	日 野	LKG-FH1ALAA改	8,860	H24.2.15
	水槽付ポンプ車	土 88さ2315	イ ス ズ	KC-FSR33G4V改	8,220	H9.12.12
	普通ポンプ車	土 830さ1457	日 野	TKG-XZU685M	4,000	H26.2.7
	救急車	土 830つ 66	ニ ッ サ ン	CBF-FPWGE50改	3,490	H22.2.15
	広報車	土 800す6647	ニ ッ サ ン	DBA-Y12	1,490	H20.1.9
	資材搬送車	土 44ね6184	ト ヨ タ	M-YY61	1,990	S62.2.26
	ボートトレーラー	土 800る1054	シーマリントレーラ	—	—	H22.8.12
桜東分署	水槽付ポンプ車	土 830さ1441	日 野	SDG-GX7JGAA改	6,400	H26.1.10
	普通ポンプ車	土 830そ 56	日 野	BDG-XZU378M	4,000	H23.1.7
	救急車	土 830ゆ 119	ニ ッ サ ン	CBF-FPWGE50改	3,490	H21.1.15
	広報車	土 88せ6375	ニ ッ サ ン	GA-VEW10	1,590	H11.2.23
	資材搬送車	土 800す6416	ミ ツ ビ シ	PDG-FE82D	4,890	H19.7.6
龍西所	水槽付ポンプ車	土 800は 969	ミ ツ ビ シ	PDG-FL63FX改	7,540	H20.1.22
	救急車	土 830て 64	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H23.1.21
	広報車	土 800さ6655	ニ ッ サ ン	TC-VW11	1,760	H13.6.21
	非常用救急車	土 88に9647	ト ヨ タ	GB-VCH32S	3,370	H11.1.14
牛東所	水槽付ポンプ車	土 800は 919	ミ ツ ビ シ	PA-FL63FX改	7,540	H19.2.21
	救急車	土 800す6255	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H19.3.14
	広報車	土 88せ4288	ト ヨ タ	GA-ET196V改	1,490	H7.8.23
	非常用消防車	土 88さ2163	イ ス ズ	KC-FSR33G2V改	8,220	H8.11.22

主 な 消 防 器 具 等

平成27年4月1現在

器 具 名		本 部	消防署	分署	出張所	合 計
救 助 器 具	救 助 ボ ー ト		6	3		9
	救 助 用 水 上 バ イ ク		1			1
	検 索 用 探 知 機		5		1	6
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー		17	4	2	23
	チ ェ ー ン ソ ー		23	4	2	29
	エ ア ー ソ ー		4	1		5
	手 動 式 油 圧 救 助 器 具		7		2	9
	油 圧 ス プ レ ッ タ ー		4	1		5
	油 圧 カ ッ タ ー		5	1		6
	マ ッ ト 型 エ ア ー ジ ャ ッ キ		4	1		5
	送 排 風 機		7			7
	削 岩 機		5			5
	ガ ス 溶 断 機		3			3
	ハ ン マ ー ド リ ル		5			5
	救 命 索 発 射 銃		8			8
	地 中 音 響 探 知 機		2			2
	熱 画 像 直 視 装 置		4			4
	夜 間 暗 視 装 置		1			1
	地 震 警 報 器		1			1
	画 像 探 索 機 I 型		1			1
画 像 探 索 機 II 型		2			2	
簡 易 画 像 探 索 機		3			3	
空 気 式 救 助 マ ッ ト		3			3	
可 搬 式 ウ ィ ン チ		12	2	2	16	
保 護 器 具	耐 熱 防 護 服		9	4		13
	耐 刃 防 護 服		30	12	8	50
	耐 電 用 防 護 服		17	3	2	22
	毒 劇 物 防 護 服		9			9
	放 射 線 防 護 服		7			7
	空 気 呼 吸 器		109	27	14	150
測 定 器 具	酸 素 呼 吸 器		10			10
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器		9	2		11
	有 毒 ガ ス 測 定 器		4			4
	放 射 線 測 定 器		20	2	2	24
救 急 器 具	ポ ケ ッ ト 線 量 計		48	10	10	68
	パ ル ス オ キ シ メ ー タ ー	1	27	4	6	38
	A E D	1	12	4	3	20
	半 自 動 除 細 動 器		8		1	9
	自 動 心 肺 蘇 生 器	1	4	2		7
	シ ョ ッ ク パ ン ツ		3			3
	輸 液 ポ ン プ	2	4		1	7
	観 察 用 モ ニ タ ー	2	11	2	2	17
携 帯 用 心 電 計		4			4	
そ の 他	人 工 蘇 生 器	2	8	2	2	14
	シ ャ ッ ト ノ ク サ ス		3			3
	発 電 機	3	26	5	2	36
	投 光 器		25	5	3	33
呼 吸 器 用 高 圧 空 気 圧 縮 機		1			1	
非 常 用 ろ 過 器		5			5	

消防隊の主な訓練及び講習会等

火災、救助等の多種多様な災害に対応するためには、車両や資機材等の充実化を図ることが必要ですが、災害による被害を最小限に止めるためには、それらを有効に活用するための訓練が必要です。そこで、年間を通じて各種訓練等を行い、技術の向上に努めています。また安全運転講習会等も実施し、緊急車両による交通事故を未然に防ぐよう努めています。

指揮訓練

この指揮訓練とは、火災現場を想定し3人搭乗の指揮隊を編成、現場の統括、部隊の運用、安全管理、情報収集等に関する訓練で組織活動における指揮隊の位置づけ及び必要性を理解すると共に、指揮隊として必要な基本的活動を身に付けるものとし、活動方針の決定、指示、下命における流れ等を理解する訓練です。



特殊災害対応訓練（BC 対応訓練）

この特殊災害訓練は、「B」バイオ（生物剤・細菌・ウイルス）「C」ケミカル（化学剤）を使用したテロ行為等に対応する訓練で、指揮隊による現場の統括、部隊の運用等に関し、危険区域、準危険区域の理解、要救助者に対する除染方法を確認し、知識と技術を身に付け、迅速対応による住民の安全確保、被害の拡大防止を目的とした訓練です。



太陽光発電設備災害対策講習会

この講習会は、近年太陽光発電システムの普及が急速に進んでいることから、現場活動等を行う上での留意点を専門家からの講義を受講することにより、現場活動の安全対策を万全にすることを目的とし開催しています。



震災対応訓練

この震災対応訓練は、管内において震度6強以上の地震に伴い多発する災害及びライフライン等の被害を想定し、大地震に対する防災機関相互の緊密な連携を確立するとともに、危機管理体制の高揚及び防災行動力の向上を図る訓練です。

なお、訓練参加機関は当消防本部を含め、構成市町村が参加しました。



高度救助隊訓練

当消防本部では、平成22年7月1日に高度救助隊が発足致しました。

高度救助隊は、専門的な知識・技術を有した隊員と高度救助用資機材等の装備・救助工作車で編成し、より高度な人命救助をはじめ、特殊な災害に即座に対応できるよう常日頃から訓練を行っています。



潜水救助隊訓練

当消防本部では、利根川・小貝川・霞ヶ浦・牛久沼などで発生する水難事故に対応するため、潜水救助隊を設けています。

潜水救助隊員は、溺水者救助訓練・救命艇救助訓練・水中検索救助訓練等を行い水難事故対応に万全を期しています。



茨城県消防救助技術大会訓練

毎年6月に行われる茨城県消防救助技術大会は人命救助のスペシャリストの救助隊員が、日頃鍛えた訓練の成果を発表し救助技術の相互の向上を図ることを目的とした大会であります。この大会には引揚救助・障害突破・ロープブリッジ救出などの救助種目があり、全国大会・関東大会を目指し訓練に励んでいます。



水防訓練

この訓練は、台風時期などに河川や湖沼から水害が発生した場合に被害を最小限に止めるよう積土のう工法、繋ぎ縫い工法、月の輪工法、釜段工法などの各水防工法を実施し、水防技術の向上並びに水防機関相互の協力体制の確立を図っています。



総 出 場 状 況 (稲敷広域)

種 別		件 数	車 両 数	延 人 員
火	建 物	42	298	1,029
	林 野	3	19	80
災	車 両	15	69	259
	航 空 機			
	船 舶			
	そ の 他	13	43	156
火 災 合 計		73	429	1,524
救 助		148	700	2,421
救 急 支 援		973	991	3,577
風 水 害 等		11	15	62
演 習 訓 練		339	449	1,583
広 報 活 動 ・ 訓 練 指 導		538	704	2,130
警 防 調 査		720	740	2,340
火 災 調 査		98	153	515
特 別 警 戒		17	21	57
捜 索		14	32	86
予 防 査 察		870	936	3,097
そ の 他	誤 報 ・ 誤 認 等	40	76	280
	い た ず ら	10	27	98
	自 火 報 調 査	15	22	82
	怪 煙 偵 察	8	9	30
	そ の 他	136	258	883
	非 火 災 合 計	209	392	1,373
危 険 排 除		47	57	195
各 種 検 査		284	369	966
各 種 調 査		136	141	442
蜂 の 巣 駆 除		1	1	4
危 険 物 流 出 事 故		3	7	23
圏 域 外 応 援 出 場		4	6	23
そ の 他		1,002	1,083	3,011
そ の 他 の 合 計		1,686	2,056	6,037
合 計		5,487	7,226	23,429

※この頁の火災出場件数には、事後覚知による火災(15件)は含まれません。

※救急出動状況については、救急関係に記載しています。

※救助出動欄には、火災以外へ出場した件数、車両数、延人員を記載しています。

総 出 場 状 況 (阿見町)

種 別		件 数	車 両 数	延 人 員
火	建 物	7	33	83
	林 野	1	8	19
	車 両	2	6	18
災	航 空 機			
	船 舶			
	そ の 他	2	7	20
火 災 合 計		12	54	140
救 助		17	31	90
救 急 支 援		173	182	553
風 水 害 等		2	3	7
演 習 訓 練		29	29	99
広 報 活 動 ・ 訓 練 指 導		84	84	262
警 防 調 査		99	99	318
火 災 調 査		12	12	48
特 別 警 戒		28	34	96
捜 索				
予 防 査 察		124	124	284
そ の 他	消 火 作 業	6	14	42
	調 査	54	57	198
	危 険 物 排 除	18	20	70
	誤 報 ・ 虚 報	7	24	60
	そ の 他	419	419	982
そ の 他 の 合 計		504	534	1,352
合 計		1,084	1,186	3,249

※この頁の火災出場件数には、事後覚知による火災(0件)は含まれません。

※救急出動状況については、救急関係に記載しています。

※救助出動欄には、火災以外へ出場した件数、車両数、延人員を記載しています。

所属別火災出場状況（稲敷広域）

管内別	種別	建物火災		林野火災		車両火災		その他の火災		計	
		車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員
	区別 車両別	台	人	台	人	台	人	台	人	台	人
消防本部	指揮車	8	23	1	3			1	3	10	29
	資材運搬車										
	警防車										
	その他の車両										
龍ヶ崎署	化学車					1	4			1	4
	救助工作車	20	82			8	32	2	8	30	122
	水槽付ポンプ車	16	69	3	14	8	33	7	32	34	148
	普通ポンプ車	13	49	3	13	7	29	7	27	30	118
	指揮車	10	25	3	11	2	6	2	5	17	47
	救急車	4	12			3	9			7	21
新河分署	化学車					1	3			1	3
	水槽付ポンプ車	23	75			5	19	2	7	30	101
	救急車	10	24							10	24
	広報車	2	2							2	2
龍西所	水槽付ポンプ車	14	58	3	14	5	22	5	21	27	115
	救急車	8	24					1	2	9	26
	広報車							2	3	2	3
牛久署	梯子車										
	水槽付ポンプ車	14	65	2	9	2	10			18	84
	普通ポンプ車	19	70	1	4	4	15			24	89
	指揮車	9	24			1	4			10	28
牛東所	救急車	4	12							4	12
	水槽付ポンプ車	10	44	3	12	3	14	2	9	18	79
	救急車	1	3			1	3			2	6
江戸崎署	広報車	1	1							1	1
	救助工作車	15	47			3	9	1	3	19	59
	水槽付ポンプ車	16	53			5	16	4	12	25	81
	普通ポンプ車	7	21			1	3	1	3	9	27
	指揮車	8	21			1	2			9	23
	救急車	7	21							7	21
桜東分署	その他の車両	1	3							1	3
	水槽付ポンプ車	20	71			5	17	2	8	27	96
	普通ポンプ車	3	9							3	9
	救急車					1	3			1	3
美浦所	広報車	2	4							2	4
	梯子車										
	水槽付ポンプ車	12	49			1	4	2	8	15	61
利根署	救急車							1	4	1	4
	広報車	6	11			1	2	1	1	8	14
	水槽付ポンプ車	7	33							7	33
	普通ポンプ車	4	14							4	14
利根署	救急車	1	3							1	3
	指揮車	3	7							3	7

所属別火災出場状況（阿見町）

管内別	種別	建物火災		林野火災		車両火災		その他の火災		計	
		車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員
	区別 車両別	台	人	台	人	台	人	台	人	台	人
阿見町	化学車	1	3							1	3
	梯子車										
	救助工作車	4	9	1	2			1	2	6	13
	水槽付ポンプ車	1	3	1	2			1	3	3	8
	普通ポンプ車	13	38	2	7	4	14	3	10	22	69
	指揮車	7	16	1	2	2	4	2	5	12	27
	救急車	4	6	1	2					5	8
	救急車	6	18	1	3			1	3	8	24
	その他の車両										

救助事故種別出動件数及び活動件数(稲敷広域)

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
	出動件数	32	13	66	9	1	2	14			11	148
	活動件数	32	13	22	7			13			7	94

救助事故種別救助人員及び車両搬送人員(稲敷広域)

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
	救助人員	3		23	3			13			7	49
搬送車両等の内訳	救急自動車	2		22	2			8			4	38
	ヘリコプター			1								1
	消防機関のその他車両等											
	消防機関以外の車両等				1							1
	計	2		23	3			8			4	40

救助事故種別出動人員及び活動人員(稲敷広域)

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
出動人員	専任救助隊員	141	49	266	33	3	7	46			34	579
	兼任救助隊員	34	5	51			1	11			2	104
	消防隊員	650	148	233	84	10	9	19			32	1,185
	救急隊員	110	24	322	27	3	6	30			31	553
	計	935	226	872	144	16	23	106			99	2,421
活動人員	専任救助隊員	34	6	55	24			40			22	181
	兼任救助隊員	2		15				8			2	27
	消防隊員	54	9	72	67			14			10	226
	救急隊員	6		77	18			24			13	138
	計	96	15	219	109			86			47	572

救助事故種別発生場所別出動件数(稲敷広域)

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外										
屋内	住居	24						1	13			2	40
	その他の屋内	7						1	1			1	10
屋外	道路	高速自動車道											
		その他の道路		3	60							1	64
	水面	内水面				9	1						10
		外水面											
	山岳												
その他の屋外	1	10	6								6	23	
地下													
その他												1	1
計		32	13	66	9	1	2	14				11	148

救助事故種別発生場所別活動件数(稲敷広域)

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外										
屋内	住居	24							12			2	38
	その他の屋内	7							1				8
屋外	道路	高速自動車道											
		その他の道路		3	20							1	24
	水面	内水面				7							7
		外水面											
	山岳												
その他の屋外	1	10	2								4	17	
地下													
その他													
計		32	13	22	7				13			7	94

救助事故種別発生場所別救助人員(稲敷広域)

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外										
屋内	住居	3							12			2	17
	その他の屋内								1				1
屋外	道路	高速自動車道											
		その他の道路			21							1	22
	水面	内水面				3							3
		外水面											
	山岳												
その他の屋外			2								4	6	
地下													
その他													
計		3		23	3				13			7	49

救助事故種別出動車両台数(稲敷広域)

区分	事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自 然災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外										
救助工作車	31	13	75	8	1	2	12				8	150
消防ポンプ車	132	38	77	10	1	3	8				7	276
はしご車												
化学車		2										2
指揮車・司令車	36	1	1	19	3						1	61
救急自動車	32	9	111	10	1	2	9				8	182
船舶				10	1							11
その他	4		2	11	1							18
計	235	63	266	68	8	7	29				24	700

救助事故種別活動車両台数(稲敷広域)

区分	事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自 然災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外										
救助工作車	10	1	17	5			10				6	49
消防ポンプ車	19	6	27	8			8				4	72
はしご車												
化学車												
指揮車・司令車	5		1	11								17
救急自動車	3	1	29	6			8				5	52
船舶				8								8
その他	2			9								11
計	39	8	74	47			26				15	209

救助隊員の訓練実施状況(稲敷広域)

訓練種別	区分	実施延回数	実施延人員	実施延時間
体力練成		610	1,120	547:00
ロープ基本・応用訓練		106	446	171:10
検索・救助訓練		57	234	86:35
各種救助器具取扱		412	1,775	621:05
各種救助事象想定訓練		162	889	263:50
その他の訓練		831	3,639	1704:05
計		2,178	8,103	3393:45

救助事故種別出動件数及び活動件数(阿見町)

区分	事故種別	火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外									
	出動件数			12	1						4	17
	活動件数			6	1						2	9

救助事故種別救助人員及び車両搬送人員(阿見町)

区分	事故種別	火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外									
	救 助 人 員			7	1						2	10
搬送車両等の内訳	救急自動車			6							1	7
	ヘリコプター											
	消防機関のその他車両等											
	消防機関以外の車両等											
	計			6							1	7

救助事故種別出動人員及び活動人員(阿見町)

区分	事故種別	火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外									
出動人員	専任救助隊員											
	兼任救助隊員			32	4						9	45
	消防隊員			35	2						8	45
	救急隊員			45	4						12	61
	消防団員											
	計			112	10							29
活動人員	専任救助隊員											
	兼任救助隊員			14	4						5	23
	消防隊員			14	2						7	23
	救急隊員			24	4						6	34
	消防団員											
	計			52	10							18

救助事故種別発生場所別出動件数(阿見町)

区分		事故種別		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外											
屋内	住居												3	3
	その他の屋内													
屋外	道路	高速自動車道				2								2
		その他の道路				9								9
	水面	内水面												
		外水面												
	山岳													
その他の屋外					1							1	2	
地下														
その他							1							1
計						12	1						4	17

救助事故種別発生場所別活動件数(阿見町)

区分		事故種別		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外											
屋内	住居												1	1
	その他の屋内													
屋外	道路	高速自動車道				1								1
		その他の道路				4								4
	水面	内水面												
		外水面												
	山岳													
その他の屋外					1							1	2	
地下														
その他							1							1
計						6	1						2	9

救助事故種別発生場所別救助人員(阿見町)

区分		事故種別		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外											
屋内	住居												1	1
	その他の屋内													
屋外	道路	高速自動車道				2								2
		その他の道路				4								4
	水面	内水面												
		外水面												
	山岳													
その他の屋外					1							1	2	
地下														
その他							1							1
計						7	1						2	10

救助事故種別出動車両台数(阿見町)

区分	事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自 然災害	機械等 によ る事故	建物等 によ る事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外										
救助工作車				11	1						4	16
消防ポンプ車				10	1						2	13
はしご車												
化学車												
指揮車・司令車				1								1
救急自動車				15	1						4	20
船舶												
その他				1								1
消防団員車両												
計				38	3						10	51

救助事故種別活動車両台数(阿見町)

区分	事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自 然災害	機械等 によ る事故	建物等 によ る事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外										
救助工作車				5	1						2	8
消防ポンプ車				4	1						2	7
はしご車												
化学車												
指揮車・司令車												
救急自動車				8	1						2	11
船舶												
その他												
消防団員車両												
計				17	3						6	26

救助隊員の訓練実施状況(阿見町)

訓練種別	区分	実施延回数	実施延人員	実施延時間
体力練成		3	16	4:00
ロープ基本・応用訓練		83	869	240:00
検索・救助訓練		39	249	77:00
各種救助器具取扱		32	221	52:00
各種救助事象想定訓練		55	424	118:00
その他の訓練		56	335	94:00
計		268	2,114	585:00

平成27年4月1日現在

種別 市町村名	消防水利 現有数	防火水槽			消火栓		その他の 水利 プール 自然水利
		公設	公設耐震 飲料水兼用	私設	公設	私設	
龍ヶ崎市	954	403	3	22	516	10	85
牛久市	1,022	398	3	25	596		26
稲敷市	1,481	623	4	86	767	1	466
阿見町	1,234	273	1	140	817	3	32
利根町	410	149	2		259		7
河内町	237	52		4	181		316
美浦村	564	117		76	327	44	53
合計	5,902	2,015	13	353	3,463	58	985

通信



●消防本部通信指令室

通信・指令の業務

高機能消防指令センターでは、位置情報通知システム、自動出動指定装置、地図検索装置などの通信施設を活用し、119番受付から消防隊・救急隊・救助隊への出場指令、現場活動への支援情報の提供のほか、関係機関への連絡、市民への災害情報提供など一連の業務を迅速かつ確実にを行っています。

指令システム

119番通報の受信から出場まで



119通報

災害の通報は、119番通報、消防署所への駆け付け通報、緊急通報システムからの通報、警察などからの通報があります。



通報受付

災害場所を短時間で特定する事が被害の軽減につながることから、位置情報通知システムや地図検索装置を活用しています。



出場指令

自動出動指定装置、出動車両運用管理装置を活用し、災害種別、規模に応じた直近の消防隊などを自動編成し、正確な情報の伝達と的確な出場指令を行います。

1 1 9 番通報電話機別の推移

稲敷広域

年次 区分	平成24年	平成25年	平成26年
固定電話	6,215	6,082	5,522
携帯電話	4,840	5,458	5,766
IP電話	3,213	3,882	4,044
計	14,268	15,422	15,332

携帯電話からの119番通報は、平成24年中は33.9%、平成25年中は35.4%、平成26年中は37.6%となり、携帯着信件数は年々増加の傾向が見られます。

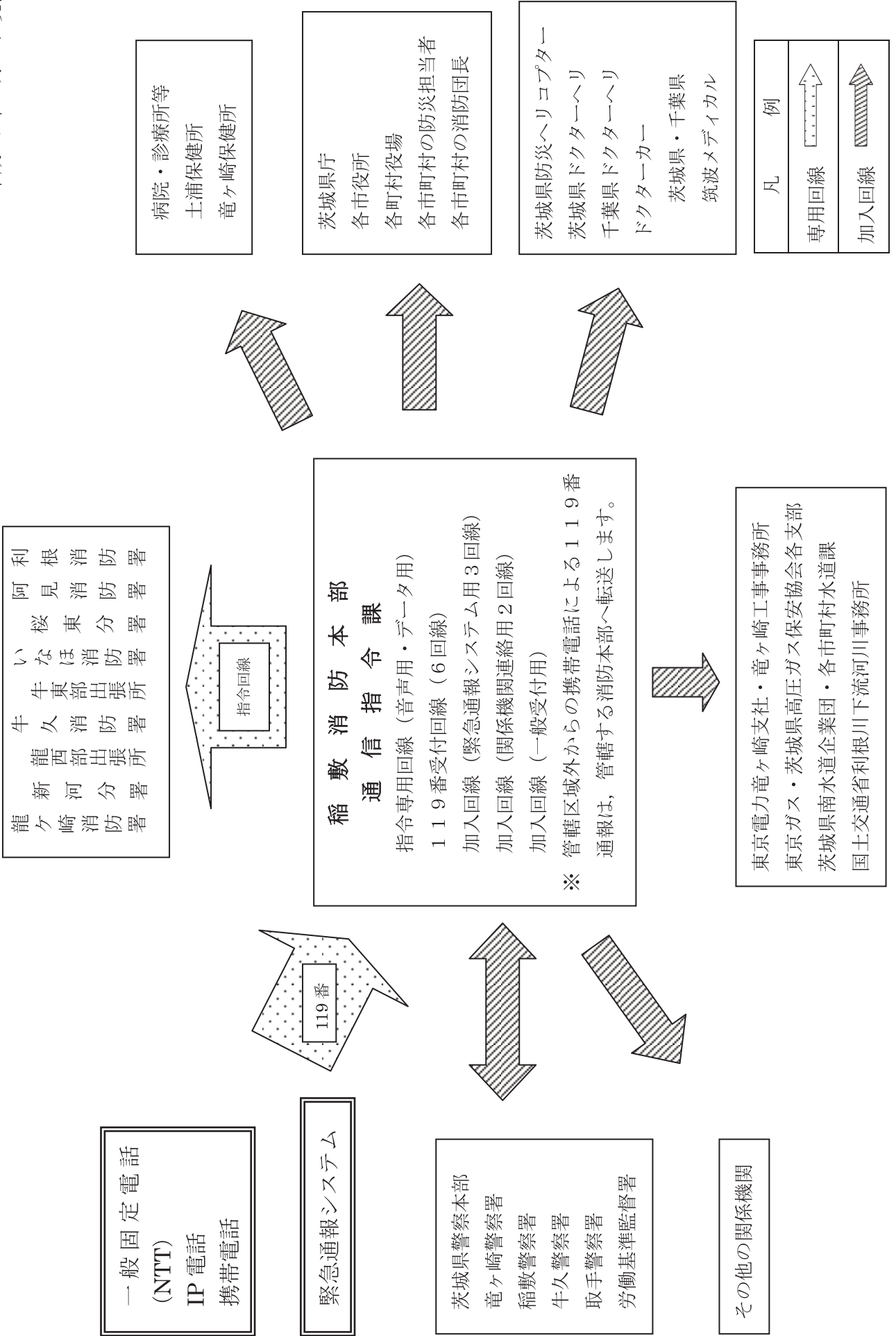
阿見町

年次 区分	平成24年	平成25年	平成26年
固定電話	1,407	1,553	1,768
携帯電話	479	565	576
IP電話	602	385	327
計	2,488	2,503	2,671

携帯電話からの119番通報は、平成24年中は19.3%、平成25年中は22.6%、平成26年中は21.6%となり、携帯着信件数は年々増加の傾向が見られます。

通 信 系 統

平成 27 年 4 月 1 日現在



通 信 施 設 状 況

平成 27 年 4 月 1 日現在

装 置 名		数 量	備 考
指 令 装 置	指 令 台	2 台	分離設置型
	自 動 出 動 指 定 装 置	1 式	
	地 図 検 索 装 置	2 台	
	長 時 間 録 音 装 置	1 台	
	非 常 用 指 令 装 置	1 台	
	指 令 制 御 装 置	1 式	
指 揮 台	指 揮 台	1 台	指令台同機能型
	地 図 等 検 索 装 置	1 台	
表 示 盤	車 両 運 用 表 示 盤	1 面	70 インチ液晶プロジェクタ
	支 援 情 報 表 示 盤	1 面	LED 固定表示方式
	多 目 的 情 報 表 示 装 置	1 面	液晶ディスプレイ 9 面構成
無 線 統 制 台	無 線 統 制 台	1 台	1 2 CH 統制部／個別部 6 CH
	無 線 拡 張 台	1 台	個別部 4 CH
指令伝送装置	指令情報送信装置	1 式	
気 象 情 報 収 集 装 置		1 式	
災 害 情 報 等 自 動 案 内 装 置		1 式	音声合成連動
順 次 指 令 装 置		1 式	音声合成連動・Eメール対応
音 声 合 成 装 置		1 式	規則・蓄積併用方式
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置		1 式	Ⅱ型
シ ス テ ム 監 視 装 置		1 式	
電 源 設 備	無 停 電 電 源 装 置	1 式	5 KVA× 2 系統
	直 流 電 源 装 置	1 式	DC-48V
	非 常 用 発 動 発 電 機	1 式	7.5 KVA
	誘 導 雷 防 止 装 置	1 式	
統 合 型 位 置 情 報 受 信 装 置		1 式	
1 1 9 受 信 F A X		1 式	
無 線 設 備		1 式	基地局装置
消 防 情 報 支 援 シ ス テ ム		1 式	Web サーバ方式
茨 城 県 救 急 医 療 情 報 コ ン ト ロ ー ル 装 置		1 式	茨城県貸与
茨 城 県 防 災 行 政 無 線 装 置		1 式	茨城県貸与
災 害 弱 者 緊 急 通 報 受 信 装 置		1 式	転送機能付
茨 城 県 防 災 情 報 シ ス テ ム 端 末 装 置		1 式	茨城県貸与

119番着信件数（稲敷広域）

区分	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
一般回線	451	528	478	414	407	428	471	491	458	477	404	515	5,522
携帯電話	472	406	459	423	470	551	545	498	505	451	454	532	5,766
I P 電話	348	318	368	284	301	303	363	360	303	380	287	429	4,044
月 計	1,271	1,252	1,305	1,121	1,178	1,282	1,379	1,349	1,266	1,308	1,145	1,476	15,332

災 害 出 場 指 令 件 数（稲敷広域）

区分		月別												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
火 災		21	10	27	19	8	9	14	12	11	24	7	21	183
救 急		915	858	896	760	795	787	935	932	848	850	780	1,058	10,414
救 助		3	1	5	5	2	1	5	5	2	3	4	2	38
その他	危険物排除	10	1	4	3	7	2	2	4	1	4	6	2	46
	自火報動	2	4	2	0	0	5	1	1	2	2	2	2	23
	その他	22	24	24	15	53	14	18	26	13	14	13	8	244
月 計		973	898	958	802	865	818	975	980	877	897	812	1,093	10,948

※ 救急指令件数には、救急支援及び救急救助指令を含みます。

119番着信件数(阿見町)

区分	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
一般回線	155	163	148	139	110	125	162	176	157	143	133	157	1,768
携帯電話	49	42	55	43	48	46	54	47	41	51	53	47	576
I P 電話	22	28	24	21	26	23	27	34	33	24	29	36	327
月 計	226	233	227	203	184	194	243	257	231	218	215	240	2,671

災害出場指令件数(阿見町)

区分		月別												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
火 災		0	5	2	2	0	0	1	1	0	0	0	1	12
救 急		164	181	172	133	136	149	165	185	156	152	156	175	1,924
救 助		1	1	1	2	1	0	2	2	1	3	3	0	17
その他	危険物除	1	1	4	3	0	1	0	2	1	2	0	2	17
	自火報動	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3
	その他	20	38	24	15	19	18	21	25	13	19	20	24	256
月 計		186	226	203	155	156	168	189	216	171	177	180	202	2,229

※ 救急指令件数には、救急支援及び救急救助指令を含みます。

無線局一覧表

平成27年4月1日現在

【基地局】

名 称	周 波 数
いなしきしょうぼう	専用波 151.63MHz 救急波 T153.11MHz R149.11MHz 全国波 150.73MHz 県内波 153.53MHz
いなしきしょうぼう うしく	専用波 151.63MHz 救急波 T153.11MHz R149.11MHz
いなしきしょうぼう えどさき	専用波 151.63MHz 救急波 T153.11MHz R149.11MHz
いなしきしょうぼう あみ	専用波 151.23 MHz 救急波 T143.76MHz R147.76MHz 全国波 150.73MHz 148.75MHz 154.15MHz

【移動局】

所 属	名 称	積 載 車 両	携 帯 局 名 称	備 考
消 防 本 部	いなしき1	指 揮 隊 車	いなしき101, 102	指 揮 本 部 用
	いなしき2	指 揮 隊 車		
	いなしき501			
龍 ヶ 崎 消 防 署	りゅうがさきしき1	指 揮 隊 車	りゅうがさき101, 102	指 揮 本 部 用
	いなしきかがく1	化 学 車		
	いなしききゅうじょ1	救 助 工 作 車		
	いなしきはんそう1	資 材 搬 送 車		
	りゅうがさき1	水 槽 付 ポ ン プ 車		
	りゅうがさき2	水 槽 付 ポ ン プ 車		
	りゅうがさき3	普 通 ポ ン プ 車		
	りゅうがさき4	普 通 ポ ン プ 車		
	りゅうがさききゅうきゅう1	高 規 格 救 急 車		
	りゅうがさききゅうきゅう3	2 B 型 救 急 車		
いなしき301				

所 属	名 称	積 載 車 両	携 帯 局 名 称	備 考
新河分署	いなしきかがく2	化 学 車	しんかわ102	指揮本部用
	しんかわ1	水槽付ポンプ車	しんかわ101, 103	
	しんかわ2	普通ポンプ車	しんかわ104	
	しんかわきゅうきゅう1	高規格救急車		
	しんかわこうほう1	広 報 車		
	いなしき305			
龍ヶ崎西部出張所	りゅうがさき5	水槽付ポンプ車	りゅうがさきせいぶ101	
	りゅうがさききゅうきゅう2	高規格救急車	りゅうがさきせいぶ102	
	りゅうがさきせいぶこうほう1	広 報 車		
	いなしききゅうきゅう1	非常用救急車		
牛久消防署	うしくしき1	指 揮 車	うしく101, 102 うしく103, いなしきはしご101 うしく104 うしく105 いなしきはしご102	指揮本部用
	いなしきはしご1	は し ご 車		
	うしく1	水槽付ポンプ車		
	うしく2	普通ポンプ車		
	うしく3	普通ポンプ車		
	うしくきゅうきゅう1	高規格救急車		
	うしくきゅうきゅう3	高規格救急車		
いなしき302				
牛久東部出張所	うしく4	水槽付ポンプ車	うしくとうぶ101, 102	
	うしくきゅうきゅう2	高規格救急車		
	うしくとうぶこうほう1	広 報 車		
	いなしき4	高規格救急車		
	いなしき6	非常用消防車		
利根消防署	とねしき1	指 揮 車	とね104 とね101, 105 とね102 とね103	指揮本部用
	とね1	水槽付ポンプ車		
	とね2	普通ポンプ車		
	とねきゅうきゅう1	高規格救急車		
	いなしき304			

所 属	名 称	積 載 車 両	携 帯 局 名 称	備 考
いなほ 消防署	いなほしき1	指 揮 車	いなほ105	指揮本部用
	いなしきはしご2	は し ご 車	いなしきはしご201	
	いなしききゅうじょ2	救 助 工 作 車	いなしききゅうじょ201, 202	
	いなほ1	水 槽 付 ポ ン プ 車	いなほ101, 103	
	いなほ2	普 通 ポ ン プ 車	いなほ102, 104	
	いなほきゅうきゅう1	高 規 格 救 急 車	いなほ106	
	いなほきゅうきゅう2	高 規 格 救 急 車		
	いなしききゅうきゅう2	非 常 用 救 急 車		
	いなほこうほう1	広 報 車	いなほ107	
いなしき303				
桜東 分署	おうとう1	水 槽 付 ポ ン プ 車	おうとう101, 102	指揮本部用
	おうとう2	普 通 ポ ン プ 車	おうとう103, 104	
	おうとうきゅうきゅう1	高 規 格 救 急 車		
	おうとうこうほう1	広 報 車		
	おうとうはんそう1	資 材 搬 送 車		
	いなしき306			
阿見 消防署	あみしき1	指 揮 車	あみ110	水10t 水8t 指揮本部用
	いなしきはしご3	は し ご 車	あみ109, 111	
	いなしききゅうじょ3	救 助 工 作 車	あみ102, 108, 112	
	いなしきすいそう1	水 槽 車		
	あみ1	化 学 車	あみ101, 103, 104	
	あみ2	普 通 ポ ン プ 車	あみ105, 106, 107	
	あみ3	水 槽 付 ポ ン プ 車	あみ115	
	あみ4	査 察 車		
	あみきゅうきゅう1	高 規 格 救 急 車	あみ113	
	あみきゅうきゅう2	高 規 格 救 急 車	あみ114	
	いなしききゅうきゅう3	非 常 用 救 急 車		
	いなしき3	水 槽 付 ポ ン プ 車		
	あみはんそう1	資 材 搬 送 車		
	いなしき307	可 搬 型		

緊急通報システム受信状況

平成 26 年度

市町村別		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	阿 見 町	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	合 計
項 目									
緊急 通シ ステ ム	加 入 件 数	416	153	228	154	55	72	74	1,152
	発 報 累 計	760	244	588	184	236	171	104	2,287
	取 消 件 数	41	24	25	12	9	14	5	130
	新 規 件 数	56	21	34	9	5	5	12	142
救急出場（緊急通報）		49	23	35	16	3	12	19	157
誤 報（緊急通報）		131	54	69	10	21	16	12	313
安 否 確 認	消 防 車 出 場	9	9	7	3	0	3	0	31
	協 力 員 等 出 向	0	1	1	2	0	0	0	4
電 池 切 れ	通 報（停電含む）	56	47	91	44	13	38	18	307
	協 力 員 等 出 向 （消防職員含まず）	4	5	13	2	3	2	0	29
テ ス ト 通 報		507	106	314	48	193	92	37	1,297
相 談		2	7	15	0	3	1	0	28
そ の 他 （ 誤 報 内 訳 ）		15	7	64	17	3	12	18	136

気象警報注意報発令調べ

通信指令課観測

種別	区分	月別												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
特別警報	大雨特別警報(浸水害)													
	大雨特別警報(土砂災害)													
	暴風雨特別警報													
	緊急地震速報(特別警報)													
	その他特別警報													
警報	暴風警報										2			2
	大雨警報		1				5	3	3	1	2			15
	水防警報													
	洪水警報						2	3	3	1	2			11
	大雪警報		1											1
	竜巻警報													
	地震・津波警報													
注意報	強風注意報	6	6	8	4	7	2	1	2	1	2	1	7	47
	大雨注意報		1	1	3	2	9	13	10	9	5			53
	大雪注意報		1											1
	雷注意報		2	4	9	9	16	14	19	11	6	3	6	99
	洪水注意報		1	1	3	2	11	14	11	9	3			55
	乾燥注意報	4	2	6	4	2							4	22
	濃霧注意報	2	1	1	1	11	16	11	3	3	4	5	6	64
	霜注意報			1	12						2	11		26
	低温注意報	16	10	5									5	36
	竜巻注意報					3								3
	大雪着雪注意報		2											2
	大雪着氷注意報													
	大雪風雪注意報		3											3
合計		28	31	27	36	36	61	59	51	35	28	20	28	440

※ 緊急地震速報の特別警報は震度6弱以上

※ その他の特別警報内訳 高潮 波浪 暴風雪 大雪 噴火

月別風速・気温・湿度・雨量調

風 速 (m/s)

通信指令課観測

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大風速	7 m/s未満	9	7	0	0	0	2	1	5	4	8	14	6
	7 m/s以上 10 m/s未満	8	8	9	9	10	16	20	9	17	9	8	9
	10 m/s以上 15 m/s未満	7	7	13	17	14	11	9	11	8	10	8	12
	15 m/s以上	7	6	9	4	7	1	1	6	1	4		4
平均風速		2.1	2.6	3.2	2.7	3.0	2.7	2.5	3.2	2.4	2.5	1.9	2.0

気 温 (°C)

通信指令課観測

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高	14.5	18.5	21.1	23.1	31.3	32.6	35.6	35.9	30.5	30.3	21.5	16.0
最低	-5.3	-4.3	-2.0	3.7	7.9	17.0	18.8	18.3	12.6	6.1	2.1	-4.7
平均	3.7	4.0	8.4	13.1	18.6	21.9	25.1	26.0	21.2	17.1	12.1	5.1

湿 度 (%)

通信指令課観測

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高	98.7	98.8	98.8	98.9	98.8	98.9	99.0	98.9	98.9	99.0	99.1	99.0
最低	23.4	30.5	25.5	19.9	27.8	36.3	54.4	46.6	44.4	33.9	33.1	29.3
平均	69.2	73.9	72.4	72.4	79.7	89.1	88.6	89.0	86.8	87.0	85.1	76.5

雨 量 (mm)

通信指令課観測

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総雨量	21.0	147.0	88.5	109.5	101.0	264.0	58.0	96.5	83.0	241.5	86.0	61.0

火災



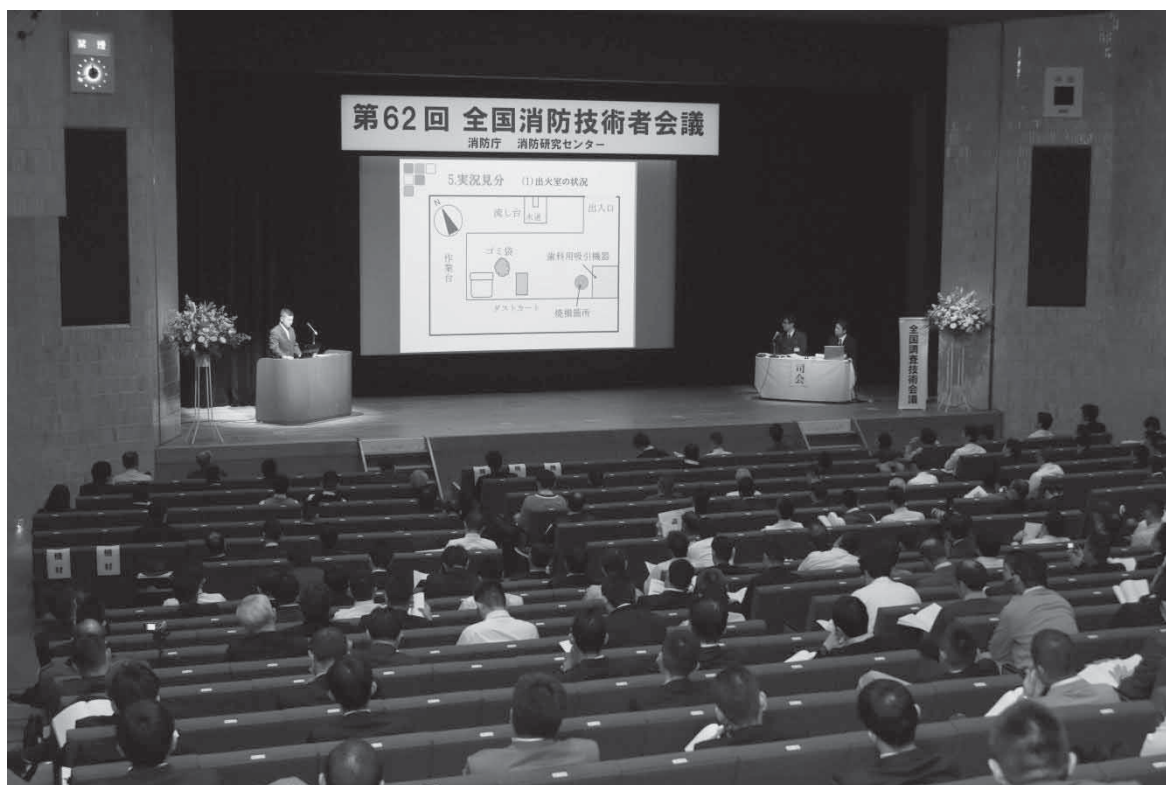
- 総務省消防庁消防研究センターとの合同火災原因調査

火災原因調査

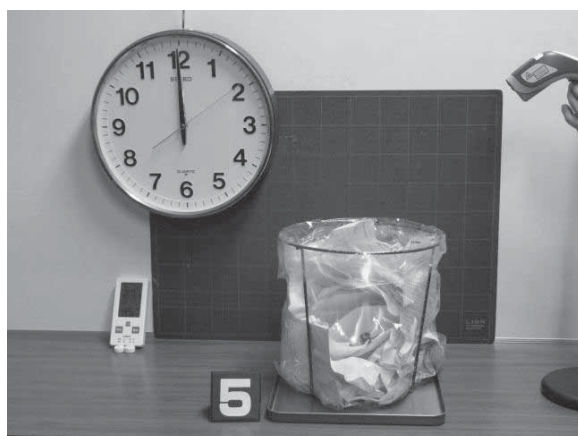
火災原因調査は、起きてしまった火災の原因を突き止めるばかりでなく、類似火災の防止策を講じる目的も有しています。当消防本部では、火災原因調査にあたり、再現実験の実施や総務省消防庁消防研究センターの技術支援を仰いでの合同調査の実施し、徹底した原因の究明に努めています。また、調査により得られた結果を職員研修により周知し、火災原因調査技術の向上、人材の育成に取り組んでいます。

平成 26 年度は、このような活動の成果を発表する場を頂き、東京都 日本消防会館（ニッショーホール）で開催された第 62 回全国消防技術者会議において、当本部管内で発生した特異火災事例に係る原因調査結果について報告しました。

●事例発表



●特異火災事例の再現実験



●職員研修



火災統計上の参考事項

1 火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

2 火災の種類

火災は、次の6種に分類する。ただし、火災が2種以上にわたった場合は、原則として焼き損害額の大きなものの種別による。

(1) 建物火災

建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

(2) 林野火災

林野、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

(3) 車両火災

自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

(4) 船舶火災

船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

(5) 航空機火災

航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

(6) その他の火災

(1)から(5)までに掲げる火災以外の火災(空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災)をいう。

3 火災損害

「火災損害」とは、火災によって受けた直接的な損害をいい、「焼き損害」、「消火損害」、「爆発損害」、「人的損害(火災による死者及び負傷者)」に区分する。「焼き損害」とは、火災によって焼けた物及び熱によって破損した物等の損害をいい、「消火損害」とは、消火活動によって受けた水損、破損、汚損等の損害をいい、「爆発損害」とは、爆発現象の破壊作用によって発生した損害のうち、「焼き損害」、「消火損害」以外の損害をいい、消火のために要した経費、焼跡整理費、火災のための休業による損失等の間接的な損害を除く。

損害額は、り災時における時価により算定することとし、「人的損害」はこれに含めない。

4 焼損の程度

一の建物の焼損程度の区分の基準は、次のとおりである。

(1) 全焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

(2) 半焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。

(3) 部分焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%未満のもの又は建物の収容物のみ焼損したものでぼやに該当しないものをいう。

(4) ぼや

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損床面積が 1 m²未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損表面積が 1 m²未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

5 り災世帯

り災世帯については、り災の程度により、次のとおり区分する。

(1) 全損

建物(収容物を含む。以下のこの項において同じ)の火災損害額がり災前の建物の評価額の 70%以上のものをいう。

(2) 半損

建物の火災損害額がり災前の建物の評価額の 20%以上で、全損に該当しないものをいう。

(3) 小損

建物の火災損害額がり災前の建物の評価額の 20%未満のものをいう。

6 死者・負傷者

「死者」又は「負傷者」とは、火災現場において火災に直接起因して、死亡した者(病死者を除く。)又は負傷した者をいう。この場合消防吏員及び消防団員については、火災を覚知した時より現場を引き揚げるまでの間に死亡した者又は負傷した者をそれぞれ死者または負傷者とする。また、火災により負傷した後 48 時間以内に死亡したものは、火災による死者とする。

7 出火原因

出火原因は、発火源、経過及び着火物の 3 つに区分する。なお、昭和 44 年以降は、発火源については、電気機器に電気冷蔵庫を加え、移動可能なガス道具及び固定したガス設備をそれぞれ都市ガスを用いるものと液化石油ガスを用いるものとに細分するとともに、着火物については、ガス類に液化石油ガスを加えた。

火 災 概 況

項目		区分		平成24年		平成25年		平成26年		前年比	
		稲敷広域	阿見町	稲敷広域	阿見町	稲敷広域	阿見町	稲敷広域	阿見町		
火災件数(件)		80	10	93	13	88	12	△5	△1		
火災種別	建物(件)	51	8	51	7	50	7	△1	0		
	林野(件)	4		6	2	3	1	△3	△1		
	車両(件)	8	2	11	1	17	2	6	1		
	船舶(件)										
	航空機(件)										
	その他(件)	17		25	3	18	2	△7	△1		
焼損棟数	合計(棟)	76		80	11	78	8	△2	△3		
	全焼(棟)	19		33		34	3	1	3		
	半焼(棟)	6	2	2	6	1		△1	△6		
	部分焼(棟)	19	5	23	2	18	3	△5	1		
	ぼや(棟)	32	1	22	3	25	2	3	△1		
焼損面積	建物(床㎡)	3,435	1,660	3,243	923	3213	188	30	△735		
	建物(表㎡)	203	11	404	50	179	5	225	△45		
	林野(a)	527		62	62	80	60	△18	△2		
	車両(台)	18	2	15	3	31	2	16	△1		
罹災世帯数(世帯)		51	4	42	5	40	5	△2	0		
罹災人員(人)		165	14	93	13	108	10	15	△3		
死傷者	死者(人)	2		4	1	5		1	△1		
	負傷者(人)	19	3	6	2	10	1	4	△1		
損害額(千円)		330,566	532,743	242,292	28,902	244,873	23,801	2,581	△5,101		

市 町 村 別 火 災 概 要

種 別		市町村別							合 計	阿 見 町
		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	利 根 町	河 内 町	美 浦 村			
合 計		29	15	20	4	7	13	88	12	
建 物		8	13	12	4	5	8	50	7	
林 野		3						3	1	
車 両		8	2	5		1	1	17	2	
船 舶										
航 空 機										
そ の 他		10		3		1	4	18	2	
建 物 焼 損 棟 数	合 計	10	17	22	9	5	15	78	8	
	全 焼	3	6	13	4	1	7	34	3	
	半 焼			1				1		
	部分焼	2	3	6	3	2	2	18	3	
	ぼ や	5	8	2	2	2	6	25	2	
建 物 焼 損 面 積 (㎡)	床面積	117	930	1,056	384	174	552	3,213	188	
	表面積	7	9	84	54	4	21	179	5	
林 野 (a)		63	17					80	60	
車 両 (台)		16	3	7	2	1	2	31	2	
火災損害額 (千円)		11,929	100,500	41,076	20,377	27,723	43,268	244,873	23,801	
罹 災 状 況	世 帯	6	10	4	7	3	10	40	5	
	人 員	18	22	12	28	11	17	108	10	
死 傷 者	死 者			1	2		2	5		
	負 傷 者	3	3		2		2	10	1	

月別火災種別（稲敷広域）

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
建物火災	6	1	4	3		2	8	4	3	6	4	9	50
林野火災				3									3
車両火災	2	3	1		3	1	1	4	1			1	17
船舶火災													
航空機火災													
その他の火災	3	2	2						5	6			18
合計	11	6	7	6	3	3	9	8	9	12	4	10	88

曜日別火災種別（稲敷広域）

曜日別 種別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
建物火災	7	9	2	9	8	6	8	49
林野火災		2			1			3
車両火災	2	4	4	4		1	2	17
船舶火災								
航空機火災								
その他の火災	3	2	2	3	3	1	2	16
合計	12	17	8	16	12	8	12	85

(不明3件)

時間帯別火災種別（稲敷広域）

時間帯別 種別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計
建物火災	3	1	2			1		3	1		1	7		2	7	2	1	2	1	3	1	4	3		45
林野火災											2	1													3
車両火災	1		1		3				1		3		1	2			1		1	2		1			17
船舶火災																									
航空機火災																									
その他の火災	1	2		2					1		1	1	2			2	1					1			14
合計	5	3	3	2	3	1		3	3		7	9	3	4	7	4	3	2	2	5	1	6	3		79

(不明9件)

月別火災種別（阿見町）

種別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
建物火災		4	1				1					1	7
林野火災				1									1
車両火災		1	1										2
船舶火災													
航空機火災													
その他の火災				1				1					2
合計		5	2	2			1	1				1	12

曜日別火災種別（阿見町）

種別 \ 曜日別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
建物火災	2			1		3	1	7
林野火災			1					1
車両火災	1	1						2
船舶火災								
航空機火災								
その他の火災	2							2
合計	5	1	1	1		3	1	12

時間帯別火災種別（阿見町）

種別 \ 時間帯	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計	
建物火災					1								2	1					1	1				1		7
林野火災										1																1
車両火災										1														1		2
船舶火災																										
航空機火災																										
その他の火災																1			1							2
合計					1					2			2	1		1			2	1				2		12

火災種別出火原因（稲敷広域）

出火原因	火災種別						合 計
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	
たばこ	4	1				2	7
こんろ			1				1
こんろ(天ぷら)	2						2
かまど							
風呂かまど							
炉							
焼却炉	2						2
ストーブ	3						3
こたつ							
ポイラー							
煙突・煙道	2						2
排気管			1			1	2
電気機器	2						2
電気装置	3		1				4
電灯・電線等の配線	3		4				7
内燃機関							
配線器具	1						1
火遊び	1						1
マッチ・ライター							
たき火	2					1	3
溶接機・溶断機							
灯 火							
衝突の火花			2				2
取 灰							
火 入 れ							
放 火	5		1			8	14
放火の疑い	4	2	1			3	10
そ の 他	3		2			1	6
不 明	13		4			2	19
合 計	50	3	17			18	88

火災種別出火原因（阿見町）

出火原因	火災種別						合 計
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	
たばこ							
こんろ							
こんろ(天ぷら)	1						1
かまど							
風呂かまど							
炉							
焼却炉							
ストーブ	1						1
こたつ							
ボイラー							
煙突・煙道							
排気管			1				1
電気機器	1						1
電気装置							
電灯・電線等の配線							
内燃機関							
配線器具							
火遊び							
マッチ・ライター							
たき火	1	1					2
溶接機・溶断機							
灯 火							
衝突の火花							
取 灰							
火 入 れ	1						1
放 火	1						1
放火の疑い						1	1
そ の 他			1			1	2
不 明	1						1
合 計	7	1	2			2	12

過去 5 年間の火災原因状況（稲敷広域）

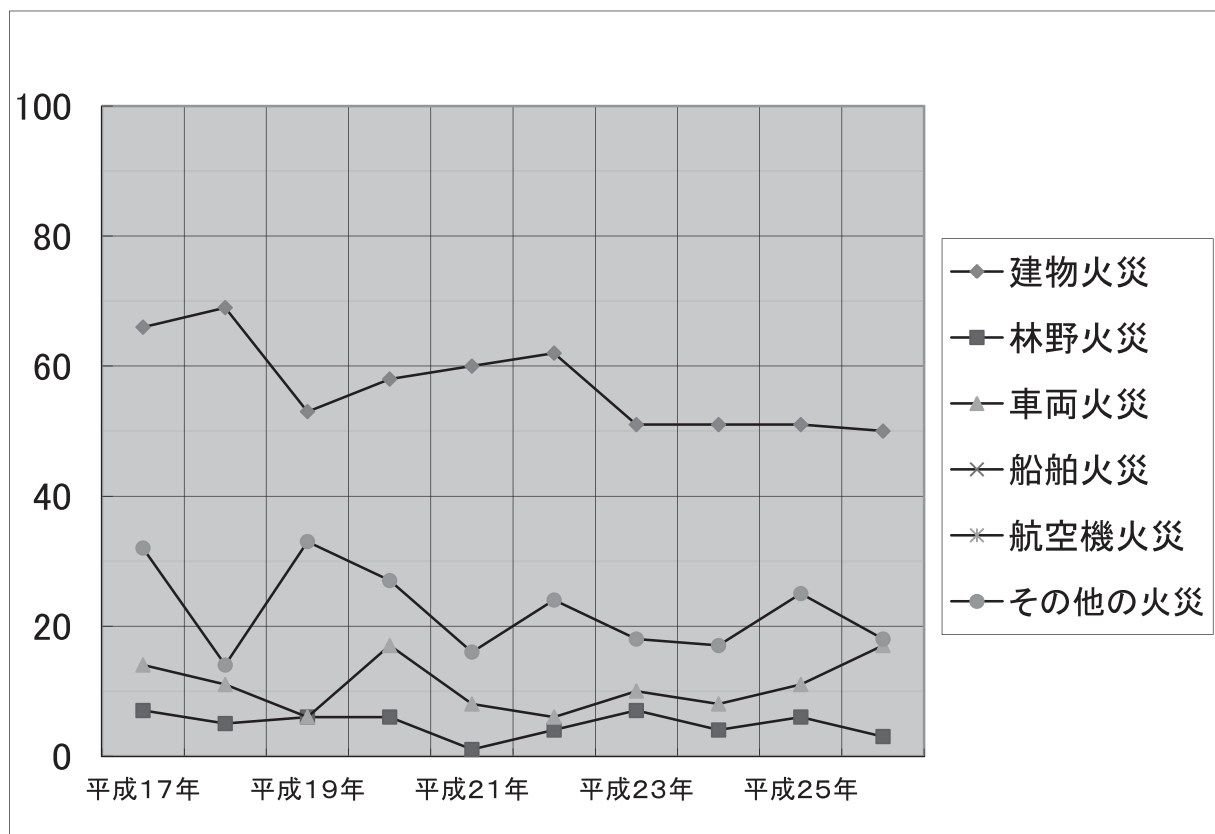
順位 年・件数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成 26 年 総件数 88 件	放火 (疑い含む) 24 件	たばこ 7 件	電灯等の配線 7 件	電気装置 4 件	こんろ (天ぷら含む) 外 2 原因 各 3 件
平成 25 年 総件数 93 件	放火 (疑い含む) 24 件	たき火 8 件	こんろ (天ぷら含む) 6 件	たばこ 5 件	電灯等の配線 4 件
平成 24 年 総件数 80 件	こんろ (天ぷら含む) 11 件	放火 (疑い含む) 8 件	たき火 5 件	たばこ ストーブ 各 3 件	内燃機関 外 3 原因 各 2 件
平成 23 年 総件数 86 件	たき火 14 件	放火 (疑い含む) 13 件	こんろ (天ぷら含む) 9 件	ストーブ 5 件	電灯等の配線 4 件
平成 22 年 総件数 96 件	放火 (疑い含む) 23 件	こんろ (天ぷら含む) 11 件	たばこ 7 件	電灯・電線等 の配線 7 件	たき火 5 件

過去 5 年間の火災原因状況（阿見町）

順位 年・件数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成 26 年 総件数 12 件	放火 (疑い含む) 3 件	たき火 2 件	こんろ (天ぷら) 他 6 原因 各 1 件	—	—
平成 25 年 総件数 13 件	放火 (疑い含む) 5 件	たき火 2 件	火入れ 他 5 原因 各 1 件	—	—
平成 24 年 総件数 10 件	放火 (疑い含む) 3 件	こんろ (天ぷら) 2 件	溶断機 他 4 原因 各 1 件	—	—
平成 23 年 総件数 15 件	こんろ (天ぷら含む) 4 件	たばこ 3 件	たき火 放火 (疑い) 各 2 件	ストーブ 他 3 原因 各 1 件	—
平成 22 年 総件数 16 件	たばこ 4 件	放火 (疑い含む) 3 件	たき火, 衝突の火花 電灯電線等の配線 各 2 件	火入れ 他 4 原因 各 1 件	—

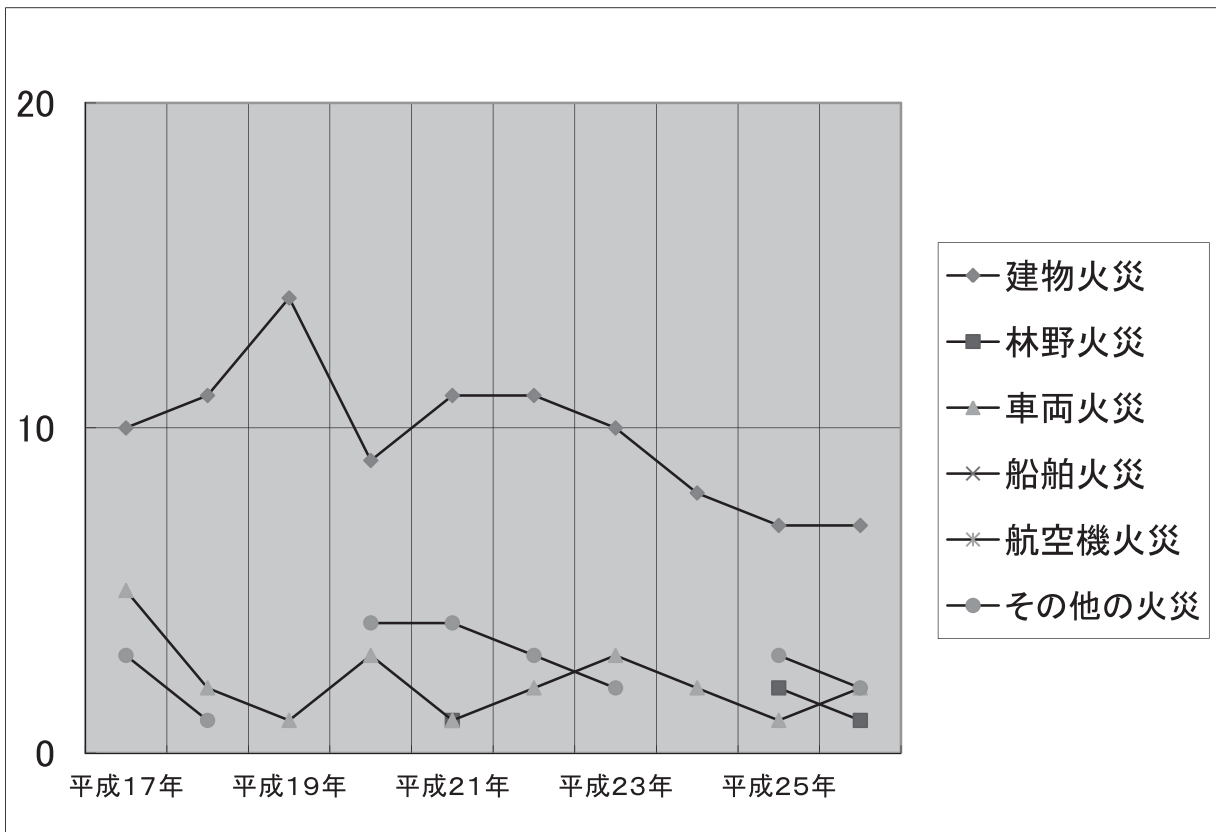
過去10年間の火災件数推移（稲敷広域）

種別 年別	建物 火災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災	合 計
平成17年	66	7	14			32	119
平成18年	69	5	11			14	99
平成19年	53	6	6			33	98
平成20年	58	6	17			27	108
平成21年	60	1	8			16	85
平成22年	62	4	6			24	96
平成23年	51	7	10			18	86
平成24年	51	4	8			17	80
平成25年	51	6	11			25	93
平成26年	50	3	17			18	88



過去 10 年間の火災件数推移 (阿見町)

種別 年別	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災	合 計
平成 17 年	10		5			3	18
平成 18 年	11		2			1	14
平成 19 年	14		1				15
平成 20 年	9		3			4	16
平成 21 年	11	1	1			4	17
平成 22 年	11		2			3	16
平成 23 年	10		3			2	15
平成 24 年	8		2				10
平成 25 年	7	2	1			3	13
平成 26 年	7	1	2			2	12



救 急



- 多数傷病者対応机上訓練

各種救急訓練・事例検討会の紹介

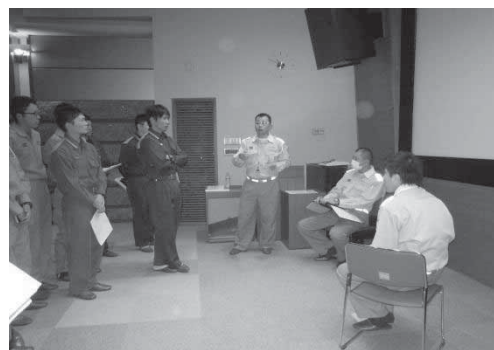
平成 25 年中の全国での救急出動件数は 590 万件を超えて過去最多の記録を更新し、今後も高齢化社会の進展から増加することが予想される中、救急隊員の知識や技術等の質の向上も求められる。その期待に応えるため下記の訓練等を行っているので紹介します。

<救急隊員研修会>

昨年度は、救急業務に関する研修会を 2 回開催しました。



除細動プロトコール研修



情報収集及び情報伝達研修

<救急事例検討会>

医療機関の医師を招き、昨年度は 2 回開催しました。



牛久愛和総合病院医師による
脳疾患の症例検討会です。



日本医科大学千葉北総病院医師による
ドクターヘリの症例検討会です。

<多数傷病者対応訓練>

列車事故や大型バス事故等のような、多数傷病者を想定した机上訓練です。



救命講習会の紹介

応急手当ボランティア指導員とは、応急手当普及員や応急手当指導員の資格を取得し消防機関の開催する救命講習会等に指導協力を希望する市民の方々です。



応急手当ボランティア指導員の登録者数は現在、72名です。

各事業所や学校等で開催する救命講習会に指導員としてご参加いただいております。

稲敷地区メディカルコントロール協議会の紹介

「稲敷地区メディカルコントロール協議会」（略語：稲敷MC協議会）とは稲敷地区住民の救命率の向上を図るため、消防本部及び医療に関連する機関がプレホスピタル・ケアに係る諸課題を協議し、稲敷地区における救急業務の円滑な推進を図ることを目的に活動しております。

協議会の活動

・事後検証会

稲敷MC協議会の医師が、C P A（心肺停止）、特異な救急案件について消防で作成した一次検証を医学的な立場から検証し、毎月行う事後検証会で数例を選抜して救急隊員に指導、助言等のフィードバックを行っています。



事後検証会風景

・教育研修会

教育研修会会議において、医師、看護師等の病院関係者及び救急隊員で年間の教育コースを決定し、一次救命処置講習(BLS)、二次救命処置講習(ICLS)、病院前外傷処置講習(JPTEC)、脳卒中病院前救護講習(PSLS)、多数傷病者対応講習(MCLS)等を企画立案して技術の向上を図っています。

ドクターヘリ及びドクターカーの紹介

<ドクターヘリ> 千葉県ドクターヘリは、茨城県と千葉県の共同利用事業として、平成 16 年 7 月 1 日から当広域圏で運航が開始されました。また、茨城県でも平成 22 年 7 月から独自のドクターヘリが運航開始されました。

<ドクターカー> ドクターカーは、平成 22 年 9 月 1 日から筑波メディカルセンター病院保有の乗用車型ドクターカーが当広域圏で運行開始され、翌年の平成 23 年 9 月 9 日から日本医科大学千葉北総病院保有のドクターカーも運行開始されました。

○ 千葉県ドクターヘリ

基地病院 日本医科大学千葉北総病院
(千葉県印西市)



○ 茨城県ドクターヘリ

基地病院 水戸済生会総合病院（水戸市双葉台）
国立病院機構水戸医療センター(茨城町)
*2 病院が交代制で運用する。



平成 26 年の運用数

	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合 計
千葉Drヘリ	17	11	17		6	4	2	57 回
茨城Drヘリ	2		6	3				11 回
合 計	19	11	23	3	6	4	2	68 回

○ 北総ドクターカー

基地病院 日本医科大学千葉北総病院



○ 筑波メディカルドクターカー

基地病院 筑波メディカルセンター病院



平成 26 年の運用数

	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合 計
北総Drカー	2		2		2			6 回
筑波Drカー		2	1					3 回
合 計	2	2	3		2			9 回

市町村別救急出場状況(件数)

消防本部別		稲敷広域							阿見町			合計
市町村別 事故種別	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	利根町	河内町	美浦村	圏外	計	阿見町	圏外	計	
火災	18	17	17	7	2	5	1	67	8		8	75
自然災害			2					2				2
水難事故			5	2	5		2	14	1		1	15
交通事故	310	328	232	44	37	50	1	1,002	230	5	235	1,237
労働災害	25	22	31	8	8	13		107	11		11	118
運動競技	30	39	11	3		1		84	8		8	92
一般負傷	460	496	305	98	70	83		1,512	286	2	288	1,800
加害事故	20	18	17	6	1	4		66	11		11	77
自損行為	25	24	24	5	5	4		87	18		18	105
急病	2,205	2,033	1,463	497	332	478	1	7,009	1,218		1,218	8,227
その他の	転院	183	206	94	20	1	59	563	105		105	668
	医師搬送								1		1	1
	資機材搬送								1		1	1
	その他	21	21	10	3	7	8	70	19		19	89
計	3,297	3,204	2,211	693	468	705	5	10,583	1,917	7	1,924	12,507

月別救急出場状況(件数)

稲敷広域

事故種別	月別												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	7	4	5	2	4	4	8	5	2	9	5	12	67	
自然災害										2			2	
水難事故	1		1	2	1		1	2	1	1	3	1	14	
交通事故	96	61	73	69	72	87	86	75	84	96	100	103	1,002	
労働災害	7	14	9	6	5	12	8	11	8	9	9	9	107	
運動競技	3	2	6	5	15	6	10	8	7	14	4	4	84	
一般負傷	134	148	124	114	134	101	110	130	140	111	114	152	1,512	
加害事故	3		5	10	3	6	7	5	10	3	4	10	66	
自損行為	7	8	10	10	6	4	8	10	5	4	9	6	87	
急病	627	573	615	508	518	540	651	652	537	562	506	720	7,009	
その他	転院	47	44	50	44	41	39	52	42	61	51	37	55	563
	医師搬送													
	資機材搬送													
	その他	9	8	6	5	2	3	7	5	6	3	5	11	70
計	941	862	904	775	801	802	948	945	861	865	796	1,083	10,583	

月別救急出場状況(件数)

阿見町

事故種別	月別												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災		3	1	1			1	1				1	8	
自然災害														
水難事故		1											1	
交通事故	15	18	17	17	16	21	18	29	22	28	16	18	235	
労働災害	1	1	2	1		2	1		1	1		1	11	
運動競技		1	2				2	1	2				8	
一般負傷	17	30	20	24	29	18	21	23	24	29	22	31	288	
加害事故	1			1	1		1	3	2	1		1	11	
自損行為	3	1	2	1		1	1		2	1	4	2	18	
急病	118	115	114	77	80	97	111	119	93	81	106	107	1,218	
その他	転院	7	9	11	10	8	9	7	9	8	10	6	11	105
	医師搬送	1											1	
	資機材搬送						1						1	
	その他	1	2	3	1	2	1	1		2	1	2	3	19
計	164	181	172	133	136	149	165	185	156	152	156	175	1,924	

事故種別年齢区分別搬送状況

稲敷広域

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
新生児							2			5	16	23
乳幼児	2			40			117			326	25	510
少年			2	104	1	53	63	3	2	150	9	387
成人	4	1	1	643	82	28	331	36	38	2,082	212	3,458
老人			3	249	24	1	936	13	18	4,049	302	5,595
計	6	1	6	1,036	107	82	1,449	52	58	6,612	564	9,973

事故種別年齢区分別搬送状況

阿見町

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
新生児											7	7
乳幼児				8			14			62	3	87
少年				42		4	15			18	2	81
成人	2			132	10	4	61	10	7	353	48	627
老人				54	1		175		5	675	47	957
計	2			236	11	8	265	10	12	1,108	107	1,759

事故種別傷病程度別搬送状況

稲敷広域

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死 亡			4	10			7	1	12	167	4	205
重 症				32	15	3	71	3	7	537	122	790
中 等 症	1			123	29	14	411	8	14	2,521	367	3,488
軽 症	5	1	2	871	63	65	960	40	24	3,382	71	5,484
そ の 他									1	5		6
計	6	1	6	1,036	107	82	1,449	52	58	6,612	564	9,973

事故種別傷病程度別搬送状況

阿見町

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死 亡				2						19		21
重 症				8			17		3	144	40	212
中 等 症	1			38	4	3	97	1	5	387	54	590
軽 症	1			187	7	5	151	9	4	557	13	934
そ の 他				1						1		2
計	2			236	11	8	265	10	12	1,108	107	1,759

救急隊員の行った応急処置件数調

稲敷広域

事故種別	応急処置区分 対象急 人処 置員	止 血	固 定	人工呼 吸	胸骨圧迫		心肺蘇生		酸素吸 入	気道確保				被 覆	保 温	
					うち 自動		うち 自動			*1	*2	*3	*4			
急病	6612	28		95			224	14	1250	336	312	14	3	7		5402
交通事故	1036	20	757	3			11		66	16	16				153	608
一般負傷	1449	114	201	9			15		40	29	20	7		2	347	1018
その他	876	20	106	6			22	1	227	30	29	1			77	660
計	9973	182	1064	113			272	15	1583	411	377	22	3	9	577	7688

事故種別	応急処置区分	在宅療法継続			シ ョ ッ ク パ ン ツ に よ る 血 圧 保 持	除 細 動	(輸 液) 静 脈 路 確 保	そ の 他 の 応 急 処 置	血 圧 測 定	聴 診 器 に よ る 心 音 ・ 呼 吸 音 等 の 聴 取	測 定 の 酸 素 飽 和 度	心電図		薬 剤 投 与
		*A	*B	*C								うち 伝送		
急病	87	7	22	56		10	71	6170	6065	6612	6302	4512		18
交通事故							4	810	979	1036	1005	225		
一般負傷	3	1		2		3	3	1263	1316	1449	1388	373		1
その他	1			1		1	8	721	783	876	835	422		1
計	91	8	22	59		14	86	8964	9143	9973	9530	5532		20

*1、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載

*2、喉頭鏡・鉗子等による異物除去を行った件数を内数として記載

*3、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載

*4、救急救命士が気管内挿管を行った件数を内数として記載

*A、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載

*B、気管切開孔又は気道瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数を内数として記載

*C、*A・*B以外の傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載

救急隊員の行った応急処置件数調

阿見町

事故種別	応急処置 区分 対象 人員 処 置	止 血	固 定	人工 呼吸	胸骨 圧 迫	心肺蘇生		酸 素 吸 入	気道確保				被 覆	保 温		
						うち 自動	うち 自動		*1	*2	*3	*4				
急病	1095	1	4	3			37	23	258	66		3	7	4	3	638
交通事故	229	9	157				2	1	20	3			1		31	74
一般負傷	261	26	24	1			3	2	20	8		3		1	31	127
その他	146	3	6				2	1	59	10					9	70
計	1731	39	191	4			44	27	357	87		6	8	5	74	909

事故種別	応急処置 区分	在宅療法継続			シ ョ ッ ク パ ン ツ に よ る 血 圧 保 持	除 細 動	(輸 静 脈 路 確 保 液)	そ の 他 の 応 急 処 置	血 圧 測 定	聴 診 器 に よ る 心 音 ・ 呼 吸 音 等 の 聴 取	測 酸 素 飽 和 度 の 定	心 電 図	うち 伝 送	薬 剤 投 与
		*A	*B	*C										
急病	18		6	12		3	4	11	1013	623	1052	509		
交通事故							1		217	100	225	17		
一般負傷								1	251	104	256	43		
その他	3	1	2					2	122	42	138	31		
計	21	1	8	12		3	5	14	1603	869	1671	600		

*1、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載

*2、喉頭鏡・鉗子等による異物除去を行った件数を内数として記載

*3、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載

*4、救急救命士が気管内挿管を行った件数を内数として記載

*A、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載

*B、気管切開孔又は気道瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数を内数として記載

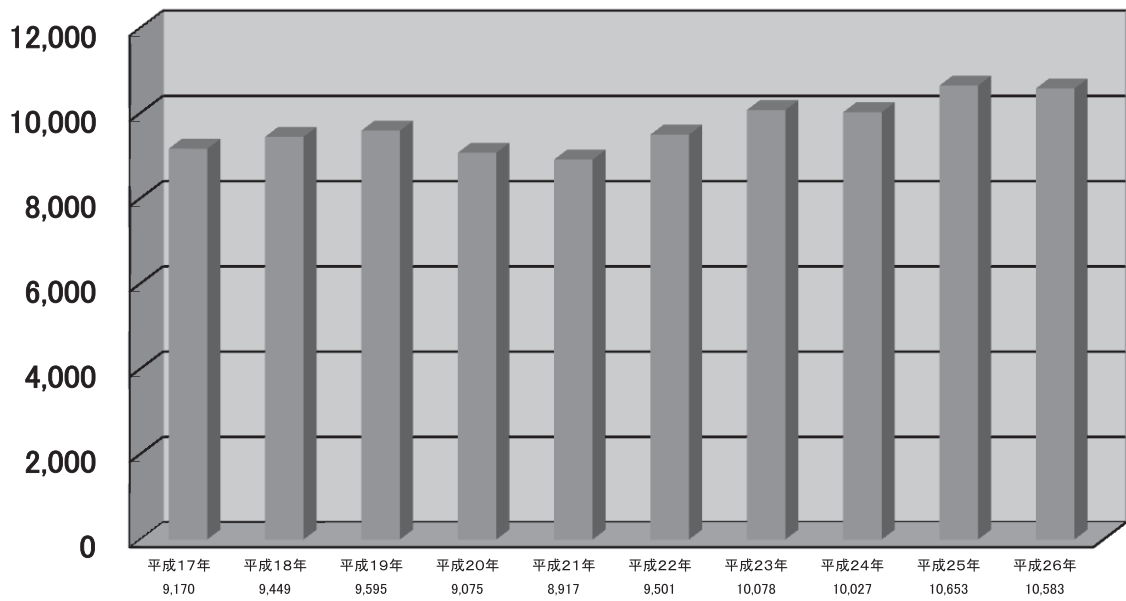
*C、*A・*B以外の傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載

市町村別救急発生状況推移

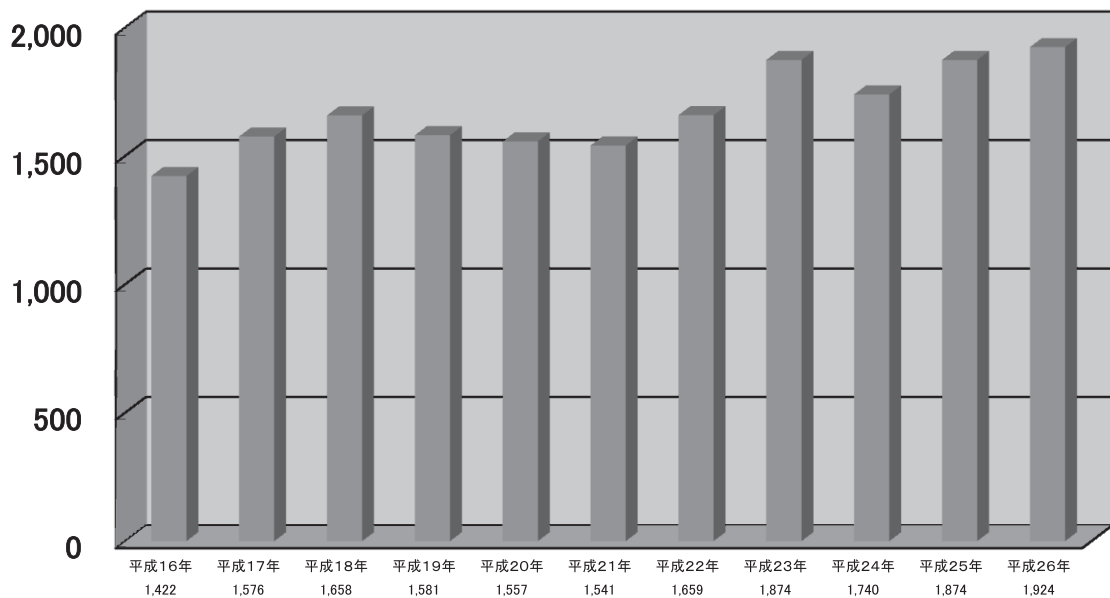
消防本部	市町村名	年別 区分	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成
			17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
稲敷 広域	龍ヶ崎市	出場件数	2,801	3,036	2,928	2,804	2,739	2,847	3,060	3,113	3,322	3,297
		搬送件数	2,605	2,830	2,734	2,596	2,518	2,633	2,829	2,891	3,105	3,064
		搬送人員	2,680	2,889	2,796	2,656	2,573	2,684	2,879	2,933	3,155	3,111
	牛久市	出場件数	2,638	2,638	2,758	2,707	2,549	2,778	3,033	3,012	3,100	3,204
		搬送件数	2,518	2,491	2,586	2,514	2,346	2,599	2,825	2,807	2,886	2,989
		搬送人員	2,598	2,558	2,660	2,591	2,407	2,652	2,875	2,849	2,933	3,021
	稲敷市	出場件数	1,993	2,111	2,212	1,923	2,036	2,111	2,165	2,102	2,299	2,211
		搬送件数	1,871	1,969	2,095	1,823	1,912	1,982	2,007	1,961	2,142	2,049
		搬送人員	1,934	2,007	2,147	1,860	1,981	2,038	2,036	1,996	2,182	2,088
	利根町	出場件数	601	587	560	527	573	591	676	663	636	693
		搬送件数	578	544	527	497	541	552	620	616	589	634
		搬送人員	589	551	530	500	547	559	624	625	596	647
	河内町	出場件数	428	436	419	399	414	445	454	446	495	468
		搬送件数	413	400	388	375	374	422	419	417	456	427
		搬送人員	428	414	395	386	384	430	424	426	461	430
	美浦村	出場件数	708	636	718	712	600	722	685	680	797	705
		搬送件数	654	599	673	654	560	667	657	645	757	665
		搬送人員	674	605	685	665	568	674	663	655	767	673
	圏外	出場件数	1	5		3	6	7	5	11	4	5
		搬送件数		2		3	4	6	2	9	4	3
		搬送人員		4		3	4	6	2	10	6	3
合計	出場件数	9,170	9,449	9,595	9,075	8,917	9,501	10,078	10,027	10,653	10,583	
	搬送件数	8,639	8,835	9,003	8,462	8,255	8,861	9,359	9,346	9,939	9,831	
	搬送人員	8,903	9,028	9,213	8,661	8,464	9,043	9,503	9,494	10,100	9,973	
阿見町	阿見町	出場件数	1,571	1,640	1,580	1,551	1,537	1,653	1,869	1,736	1,872	1,917
		搬送件数	1,476	1,536	1,471	1,443	1,399	1,516	1,728	1,592	1,711	1,723
		搬送人員	1,538	1,578	1,511	1,457	1,427	1,536	1,753	1,621	1,737	1,752
	圏外	出場件数	5	18	1	6	4	6	5	4	2	7
		搬送件数	2	13		3	3	6	5	2	2	7
		搬送人員	2	13		3	3	7	5	2	2	7
	合計	出場件数	1,576	1,658	1,581	1,557	1,541	1,659	1,874	1,740	1,874	1,924
		搬送件数	1,478	1,549	1,471	1,446	1,402	1,522	1,733	1,594	1,713	1,730
		搬送人員	1,540	1,591	1,511	1,460	1,430	1,543	1,758	1,623	1,739	1,759
総合計	出場件数	10,746	11,107	11,176	10,632	10,458	11,160	11,952	11,767	12,527	12,507	
	搬送件数	10,117	10,384	10,474	9,908	9,657	10,383	11,092	10,940	11,652	11,561	
	搬送人員	10,443	10,619	10,724	10,121	9,894	10,586	11,261	11,117	11,839	11,732	

※平成17年稲敷市の出場件数は旧江戸崎町、新利根町、桜川村、東町の総合計による。

救急出場件数推移（稲敷広域）



救急出場件数推移（阿見町）



救命講習実施状況

稲敷広域

普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		上級救命講習		その他の講習	
回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
198	2,160	4	31	14	127	9	39	66	2,423

救命入門コース		合計	
回数	受講者数	回数	受講者数
19	211	310	4,991

救命講習実施状況

阿見町

普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		上級救命講習		その他の講習	
回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
64	875			5	45	1	1	13	757

救命入門コース		合計	
回数	受講者数	回数	受講者数
6	70	89	1,748

救急蘇生の状況

稲敷広域

救急搬送された心肺機能停止傷病者に関する統計です。

心肺機能停止の症例

平成25年中

全心肺停止	268件	
蘇生施行事案	268件	
心原性 187	目撃あり	49件
	目撃なし	125件
非心原性	94件	

平成25年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
49 件	1ヶ月生存	
	6件	生存率 12%

心肺機能停止の症例

平成26年中

全心肺停止	272件	
蘇生施行事案	272件	
心原性 195	目撃あり	56件
	目撃なし	139件
非心原性	77件	

平成26年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
56 件	1ヶ月生存	
	4件	生存率 7%

<非心原性に属するもの>

- ・外因による死亡はすべて非心原性とする。
外傷、縊頸、窒息、溺水、薬物中毒等
- ・内因による死亡のうち、不全臓器や疾患が特定できるもの。
中枢神経系：脳血管障害、くも膜下出血、脳腫瘍等、呼吸器系：気管支喘息、肺炎等
大血管系：大動脈解離・破裂、肺動脈血栓塞栓症等、消化器系：消化管出血、肝不全等
- ・悪性腫瘍の末期状態　　・乳児突然死症候群

<心原性に属するもの>

- ・明らかな心疾患が原因のもの
- ・非心原性以外のもの
- ・老衰は除外診断の心原性とする。
- ・浴槽内での心停止は明らかに溺死と判断できる場合を除き、除外診断に基づく心原性とする。

救急蘇生の状況

阿見町

救急搬送された心肺機能停止傷病者に関する統計です。

心肺機能停止の症例

平成25年中

全心肺停止	42件	
蘇生施行事案	42件	
心原性	目撃あり	13件
	目撃なし	15件
非心原性	14件	

平成25年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
13件	1ヶ月生存	
	1件	生存率 7%

心肺機能停止の症例

平成26年中

全心肺停止	44件	
蘇生施行事案	44件	
心原性	目撃あり	13件
	目撃なし	23件
非心原性	8件	

平成26年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
13件	1ヶ月生存	
	2件	生存率 15%

<非心原性に属するもの>

- ・外因による死亡はすべて非心原性とする。
外傷，縊頸，窒息，溺水，薬物中毒等
- ・内因による死亡のうち，不全臓器や疾患が特定できるもの。
中枢神経系：脳血管障害，くも膜下出血，脳腫瘍等，呼吸器系：気管支喘息，肺炎等
大血管系：大動脈解離・破裂，肺動脈血栓塞栓症等，消化器系：消化管出血，肝不全等
- ・悪性腫瘍の末期状態　　・乳児突然死症候群

<心原性に属するもの>

- ・明らかな心疾患が原因のもの
- ・非心原性以外のもの
- ・老衰は除外診断の心原性とする。
- ・浴槽内での心停止は明らかに溺死と判断できる場合を除き，除外診断に基づく心原性とする。

管内消防団



● 水防訓練

管内消防団の状況

平成 27 年 4 月 1 日現在

区 分		龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村
発足年月日		S29. 3. 20	S29. 4. 1	H17. 3. 22	S30. 4. 1	S30. 1. 1	S38. 4. 1	S41. 3. 14
組 織 体 制	団 長	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
	副 団 長	3 名	5 名	21 名	3 名	5 名	4 名	4 名
	指 導 員	7 名	0 名	8 名	6 名	0 名	8 名	5 名
	分 団 長	11 名	28 名	80 名	15 名	16 名	※ 21 名	※ 10 名
	副分団長	7 名	0 名	80 名	15 名	16 名	17 名	0 名
	部 長	33 名	29 名	80 名	16 名	15 名	17 名	19 名
	班 長	108 名	107 名	191 名	52 名	44 名	34 名	39 名
	団 員	344 名	286 名	910 名	231 名	99 名	241 名	236 名
消防団員総数		514 名	456 名	1371 名	339 名	196 名	337 名	313 名
車 両 装 備	普通ポンプ車	10 台	9 台	9 台	16 台	6 台	0 台	6 台
	小型動力ポンプ	0 台	1 台	8 台	0 台	0 台	0 台	0 台
	小型動力積載車	22 台	22 台	70 台	15 台	9 台	13 台	14 台
	多機能消防車	1 台	1 台	0 台	1 台	0 台	1 台	0 台
	司令車等	3 台	2 台	4 台	1 台	1 台	1 台	1 台
年 齢 別 状 況	20 歳未満	2 名	0 名	4 名	0 名	0 名	1 名	0 名
	20 歳～25 歳未満	17 名	10 名	60 名	5 名	12 名	15 名	11 名
	25 歳～30 歳未満	36 名	17 名	228 名	43 名	18 名	42 名	53 名
	30 歳～35 歳未満	75 名	62 名	441 名	49 名	19 名	47 名	87 名
	35 歳～40 歳未満	121 名	111 名	346 名	78 名	43 名	78 名	90 名
	40 歳～45 歳未満	122 名	98 名	178 名	96 名	47 名	75 名	52 名
	45 歳～50 歳未満	85 名	89 名	83 名	48 名	22 名	45 名	12 名
	50 歳～55 歳未満	32 名	46 名	20 名	7 名	17 名	27 名	6 名
	55 歳～60 歳未満	13 名	18 名	5 名	9 名	4 名	7 名	0 名
	60 歳以上	11 名	5 名	6 名	4 名	14 名	0 名	2 名
勤 続 年 数 別 状 況	5 年未満	127 名	88 名	331 名	77 名	50 名	58 名	85 名
	5 年～10 年未満	79 名	74 名	424 名	75 名	50 名	64 名	91 名
	10 年～15 年未満	110 名	78 名	344 名	76 名	30 名	66 名	60 名
	15 年～20 年未満	100 名	97 名	179 名	62 名	41 名	92 名	56 名
	20 年～25 年未満	62 名	71 名	65 名	36 名	17 名	37 名	14 名
	25 年～30 年未満	24 名	34 名	18 名	10 名	5 名	16 名	4 名
	30 年以上	12 名	14 名	10 名	3 名	3 名	4 名	3 名

※河内町に分団長は、21 名のうち 6 名が指導員を兼務する。

※美浦村に分団長は、10 名のうち 1 名が指導員を兼務する。

各消防団の事務局

消防団別	事務局の位置等
龍ヶ崎市消防団	龍ヶ崎市 3710 番地 危機管理室 消防防災 G
牛久市消防団	牛久市中央 3 丁目 15 番地 1 市民部交通防災課危機管理消防防災 G
稲敷市消防団	稲敷市須賀津 208 番地 総務部危機管理課消防防災係
阿見町消防団	稲敷郡阿見町中央 1 丁目 1 番 1 号 総務部 交通防災課 消防運営管理室
利根町消防団	利根町大字布川 841 番地 1 総務課 消防交通係
河内町消防団	河内町源清田 1183 河内町役場 総務課
美浦村消防団	稲敷郡美浦村大字受領 1515 総務部総務課 消防防災係

名 称	稲敷消防年報2015
発 行	稲敷広域消防本部 茨城県龍ケ崎市3,571番地の1 ☎0297-64-3743
編 集	消防本部総務課
発行年月	平成 27 年 7 月
印 刷	倉沢印刷株式会社